

人権問題に関する市民意識調査

結果報告書

【概要版】



平成28年10月
五泉市企画政策課

－ 目 次 －

I 調査概要.....	1
II 調査結果の概要.....	3
1. 人権全般について.....	3
2. 女性の人権について.....	8
3. 子どもの人権について.....	10
4. 高齢者の人権について.....	12
5. 障がいのある人の人権について.....	14
6. 外国籍住民等の人権について.....	16
7. 感染症患者の人権について.....	18
8. インターネット上の人権について.....	20
9. 新潟水俣病患者の人権について.....	22
10. その他の人権について.....	24
11. 同和問題について.....	26
12. 人権問題を解決する方策について.....	32

I 調査概要

1 調査の目的

人権問題に関する市民意識の実態を把握するとともに、「(仮称)五泉市人権教育・啓発推進計画」の策定における基礎資料とするため。

2 調査の設計

- | | |
|----------|--|
| (1) 調査地域 | 五泉市全域 |
| (2) 調査対象 | 満 18 歳以上の男女個人（住民基本台帳より無作為抽出） |
| (3) 標本数 | 1,000（人） |
| (4) 調査方法 | 配付・回収とも郵送による自記式のアンケート |
| (5) 調査期間 | 平成 28 年 2 月 19 日（金）～3 月 4 日（金） |
| (6) 調査項目 | ① 回答者の属性
② 人権全般について
③ 女性の人権について
④ 子どもの人権について
⑤ 高齢者の人権について
⑥ 障がいのある人の人権について
⑦ 外国籍住民等の人権について
⑧ 感染症患者の人権について
⑨ インターネット上の人権について
⑩ 新潟水俣病患者の人権について
⑪ 犯罪被害者やその家族の人権について
⑫ 刑を終えて出所した人やその家族の人権について
⑬ 同和問題について
⑭ 人権問題を解決する方策について
⑮ 意見・要望 |

3 回収状況

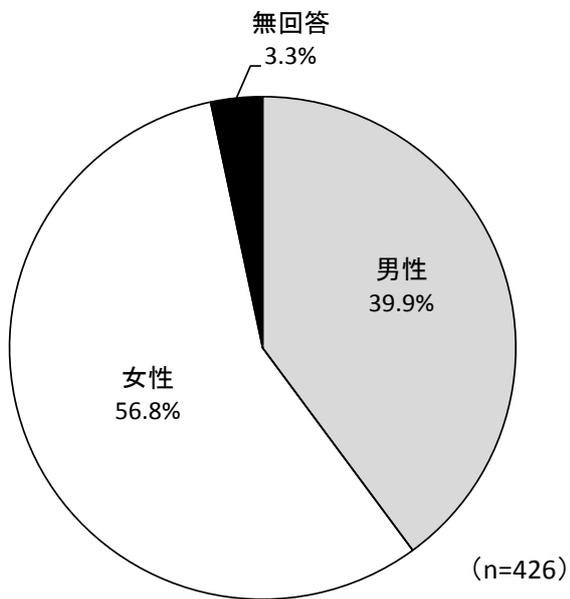
回収数	426
有効回収率	42.6%

4 集計・分析にあたって

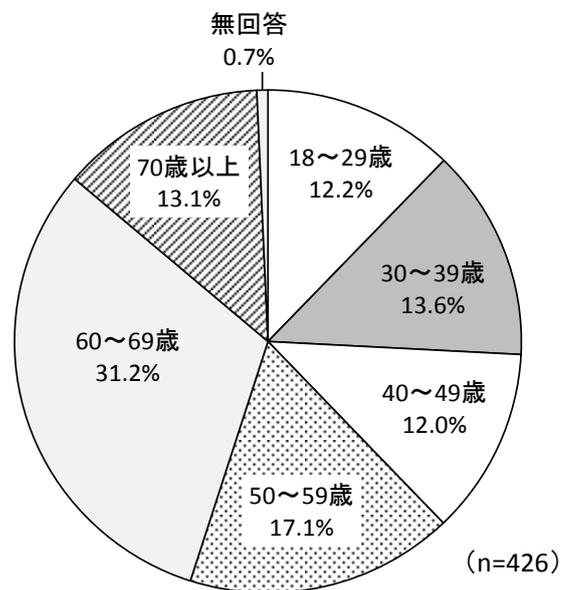
- (1) 比率は、原則として各質問の無回答を含む回収数に対する百分比（％）で表している。
- (2) 百分比（％）は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位まで表している。
そのため、百分比の合計が、100.0 にならない場合がある。
- (3) 複数回答では、比率の合計が 100%を超える。
- (4) 図表中の「n」とは回答者総数のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

5 回答者の構成

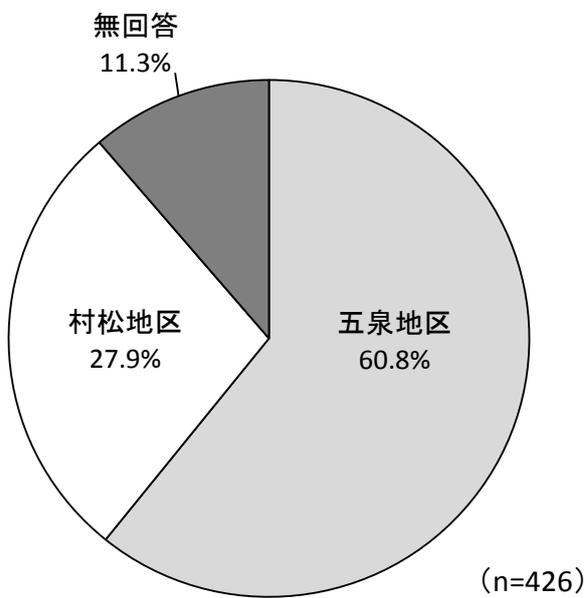
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 居住地区

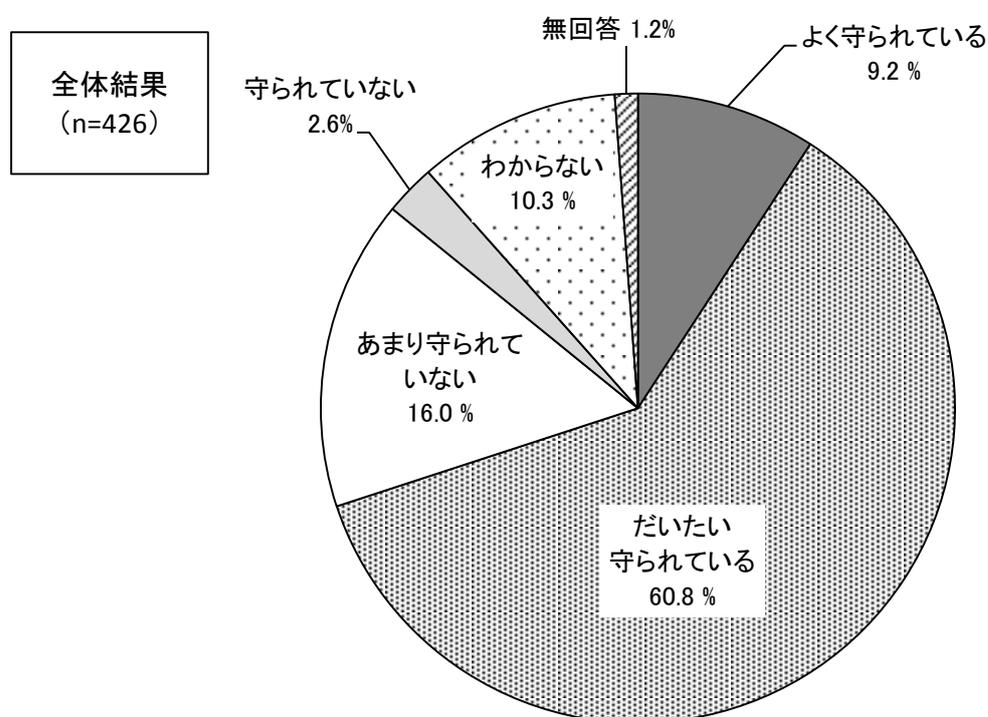


Ⅱ 調査結果の概要

1. 人権全般について

(1) 基本的人権について

問4. 日本国憲法では、人間が生まれながらにして持っている侵すことのできない永久の権利として基本的人権が保障されています。あなたは、現在の日本で、基本的人権が守られていると思いますか。(1つだけに○)



【結果】

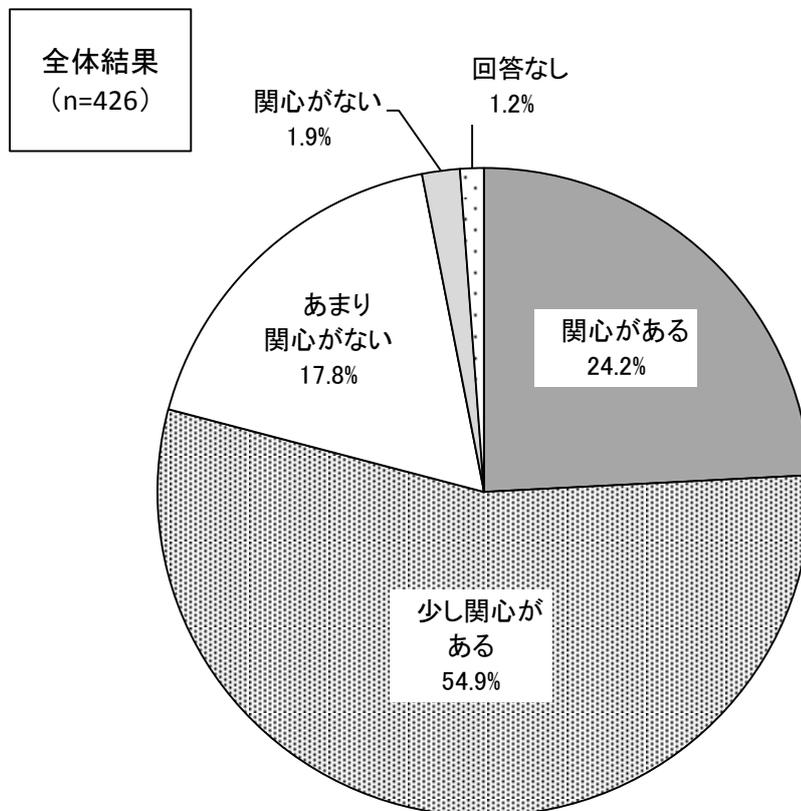
「よく守られている」(9.2%)と「だいたい守られている」(60.8%)の合計は70.0%で、7割の人が「守られている」と回答している。

一方で、「あまり守られていない」(16.0%)と「守られていない」(2.6%)の合計は18.6%で、2割弱の人が「守られていない」と回答している。

また、「わからない」が10.3%となり、1割を占める。

(2) 人権や差別問題に対する関心について

問5. あなたは、人権や差別の問題に関心を持っていますか。



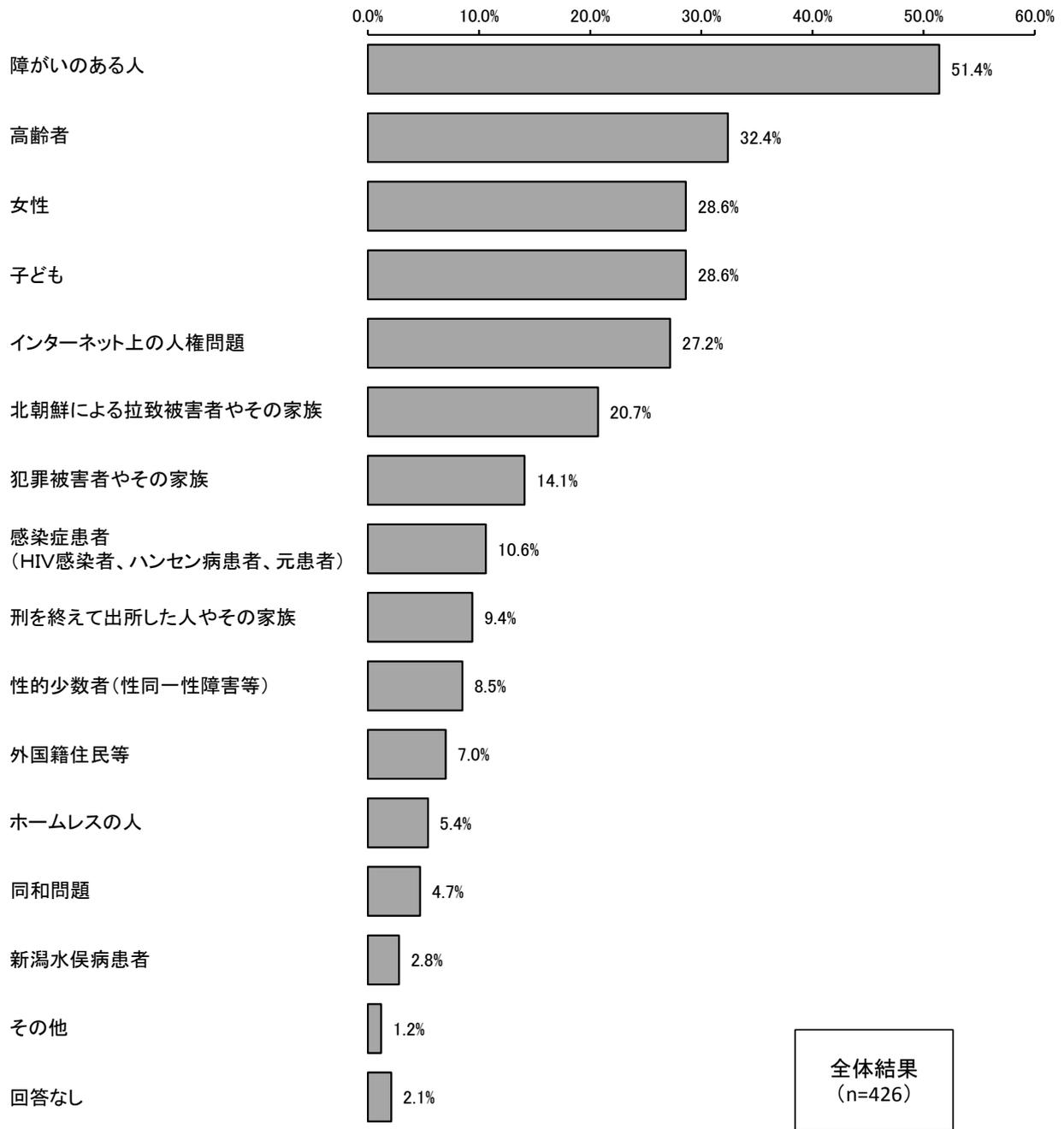
【結果】

「関心がある」(24.2%)と「少し関心がある」(54.9%)の合計は79.1%で、8割弱の人が「関心がある」と回答している。

一方で、「あまり関心がない」(17.8%)と「関心がない」(1.9%)の合計は19.7%で、2割弱の人が「関心がない」と回答している。

(3) 関心のある人権や差別問題について

問6. あなたは、誰について（何について）の人権や差別の問題に関心がありますか。
（3つまで○）

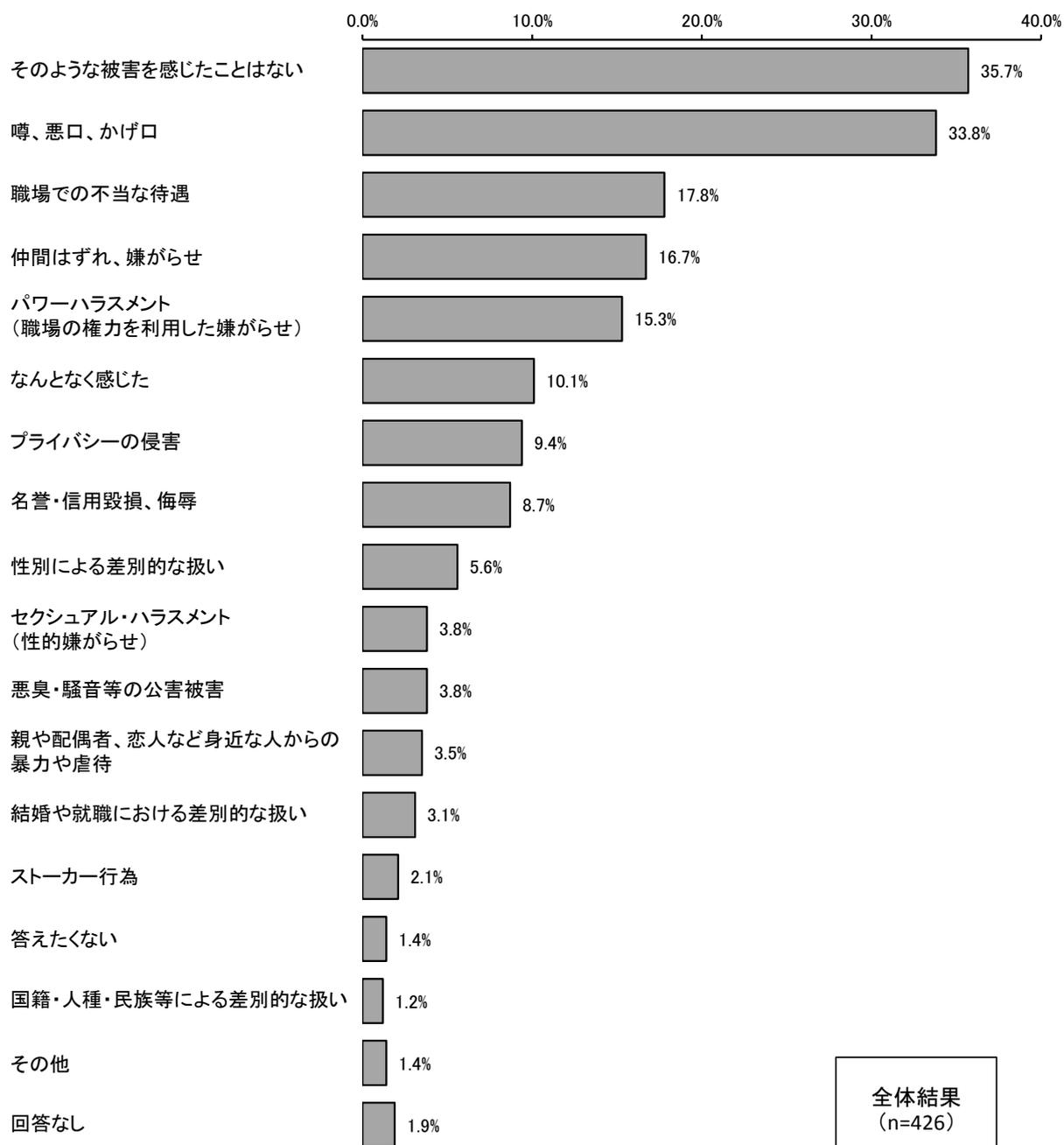


【結果】

「障がいのある人」が 51.4%と最も高く、「高齢者」(32.4%)、「女性」(28.6%)、「子ども」(28.6%)と続いている。

(4) 人権に関する被害経験について

問7. あなたは、これまでに次のような被害等によって「自己的人権が侵害された」と思ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



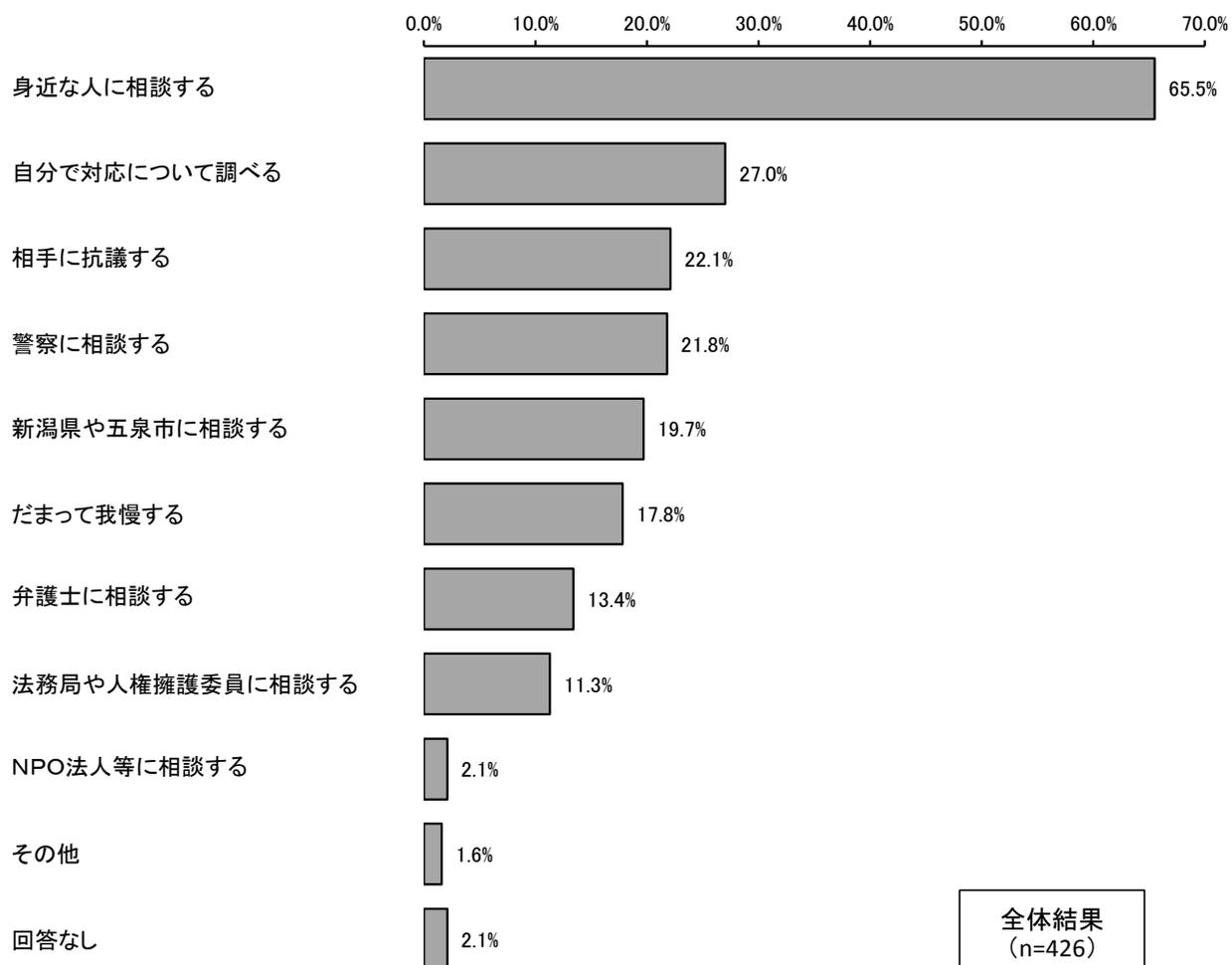
【結果】

被害経験については、「噂、悪口、かげ口」(33.8%)が最も高く、「職場での不当な待遇」(17.8%)、「仲間はずれ、嫌がらせ」(16.7%)がこれに続く。

なお、「そのような被害を感じたことはない」(35.7%)は3割を超えている。

(5) 人権が侵害されたときの対応について

問8. もし、あなたの人権が侵害されたとしたら、どのような対応をしますか。
(あてはまるものすべてに○)



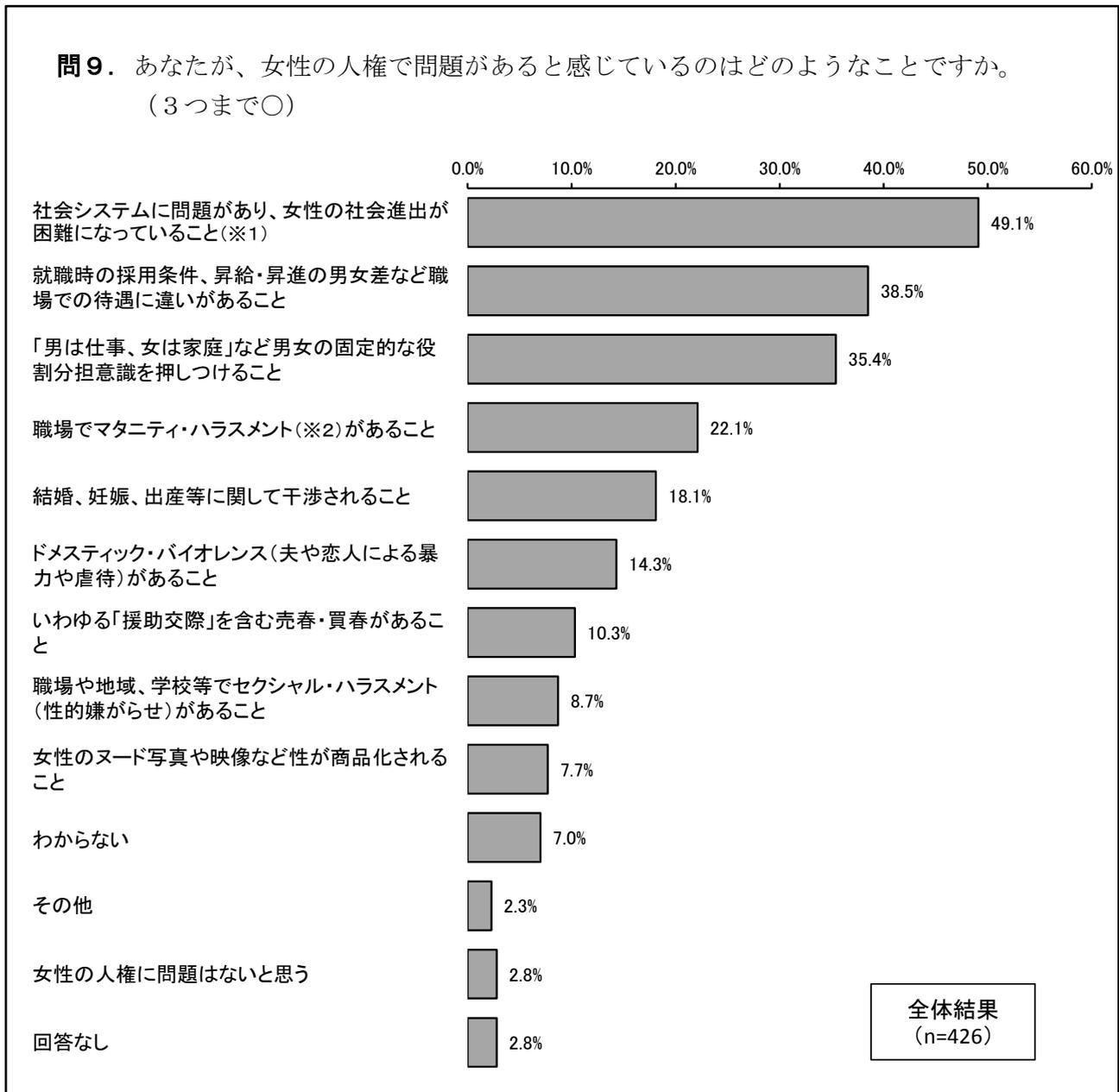
【結果】

「身近な人に相談する」(65.5%)が最も高く、「自分で対応について調べる」(27.0%)、「相手に抗議する」(22.1%)が続いている。

なお、「だまって我慢する」(17.8%)は2割弱となっている。

2. 女性の人権について

(1) 女性の人権に対する問題意識について



※1 社会システムに問題があり、女性の社会進出が困難になっていること：育児、家事、高齢者介護などを男女が共同で担うことができる就労環境や社会制度の整備が不十分であること。

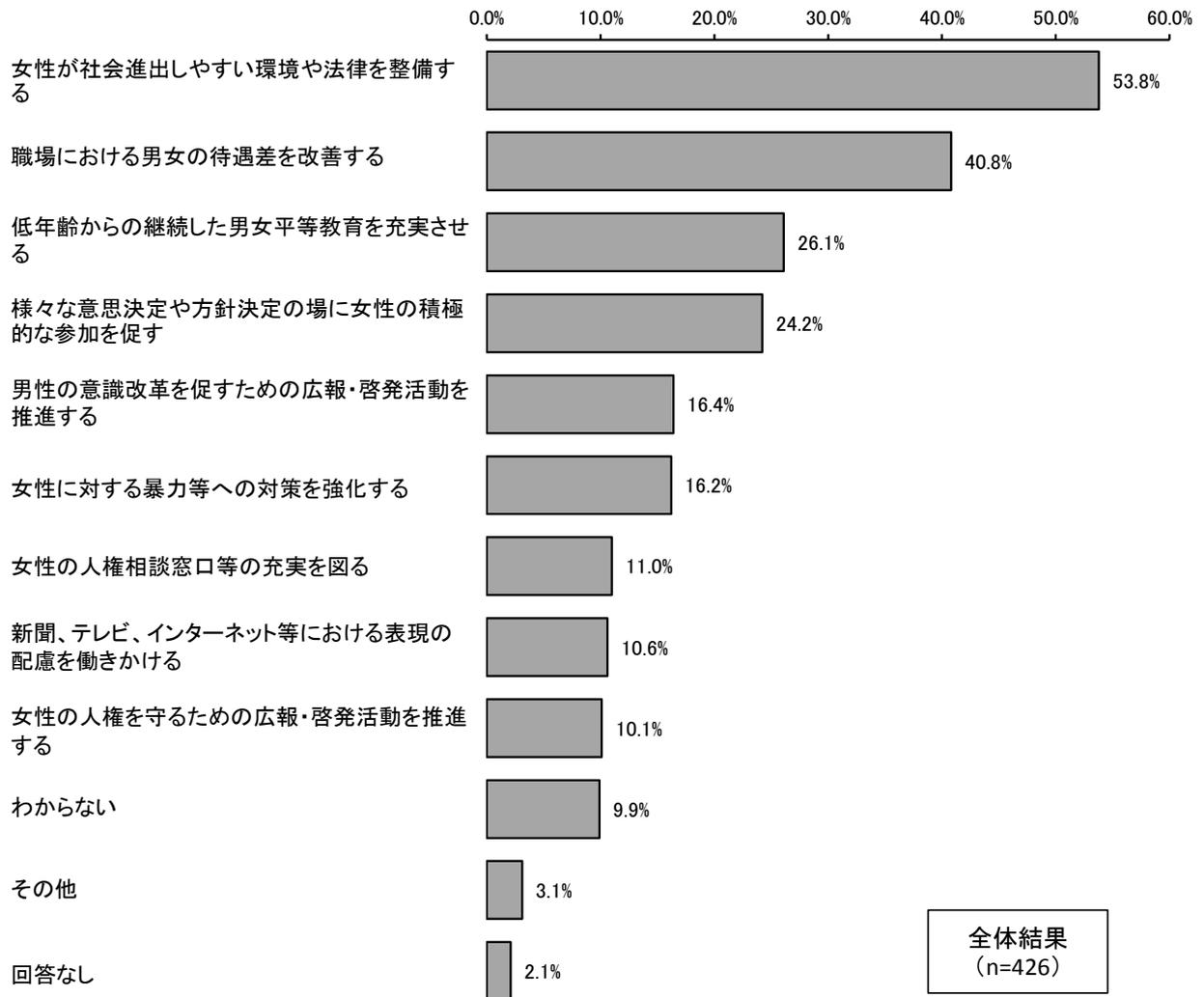
※2 マタニティ・ハラスメント：妊娠や出産をしたことが業務上支障をきたすという理由による精神的・肉体的な嫌がらせ。

【結果】

「社会システムに問題があり、女性の社会進出が困難になっていること」(49.1%)が最も高く、「就職時の採用条件、昇給・昇進の男女差など職場での待遇に違いがあること」(38.5%)、「『男は仕事、女は家庭』など男女の固定的な役割分担意識を押し付けること」(35.4%)が続いている。

(2) 女性の人権を守るために必要なこと

問 10. 女性の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)



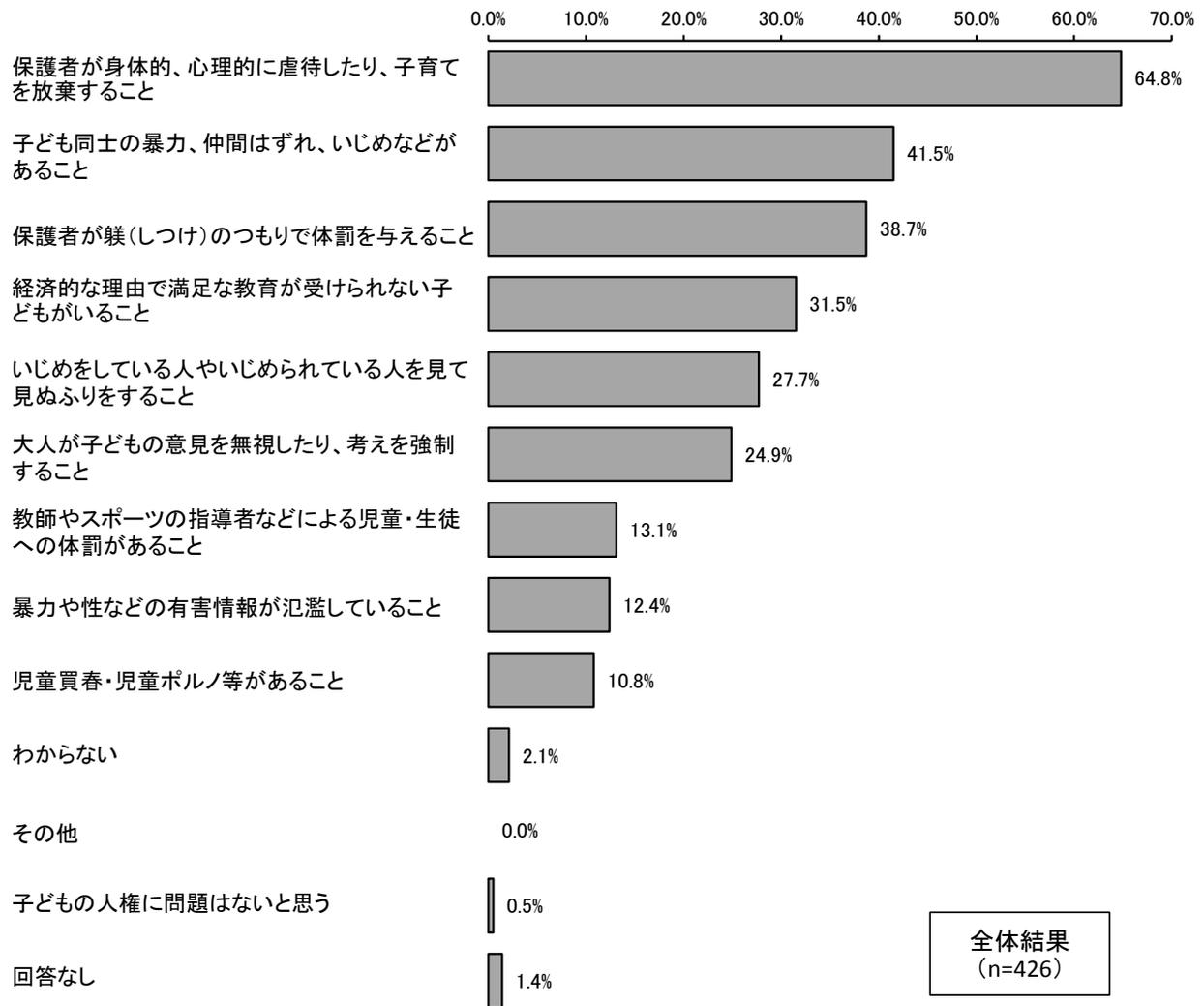
【結果】

「女性が社会進出しやすい環境や法律を整備する」(53.8%)が最も高く、「職場における男女の待遇差を改善する」(40.8%)、「低年齢からの継続した男女平等教育を充実させる」(26.1%)が続いている。

3. 子どもの人権について

(1) 子どもの人権に対する問題意識について

問 11. あなたが、子どもの人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。
(3つまで○)



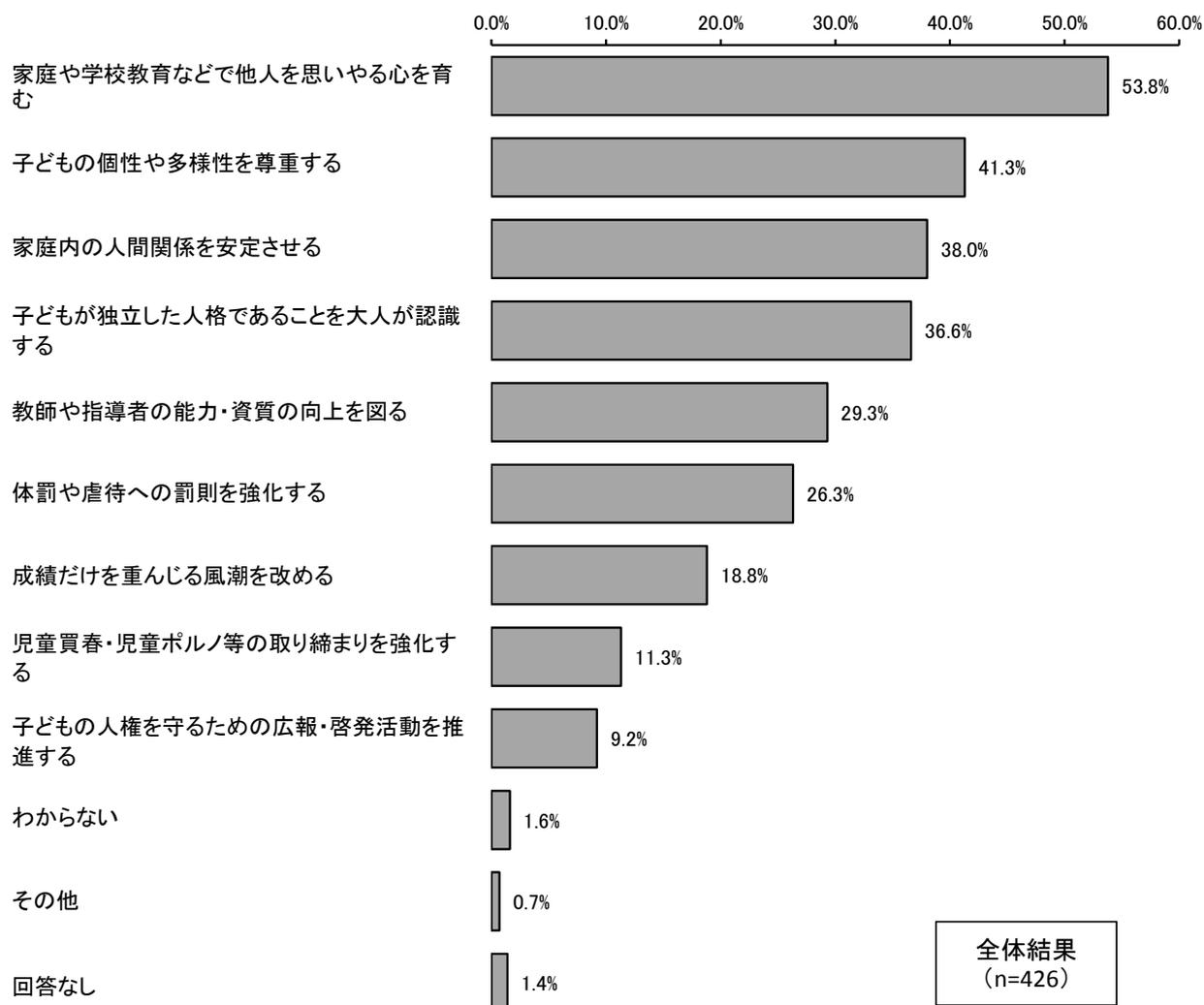
【結果】

「保護者が身体的、心理的に虐待したり、子育てを放棄すること」(64.8%)が最も高く、6割を超えている。

続いて、「子ども同士の暴力、仲間はずれ、いじめなどがあること」(41.5%)、「保護者が躰(しつけ)のつもりで体罰を与えること」(38.7%)となっている。

(2) 子どもの人権を守るために必要なこと

問 12. 子どもの人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)

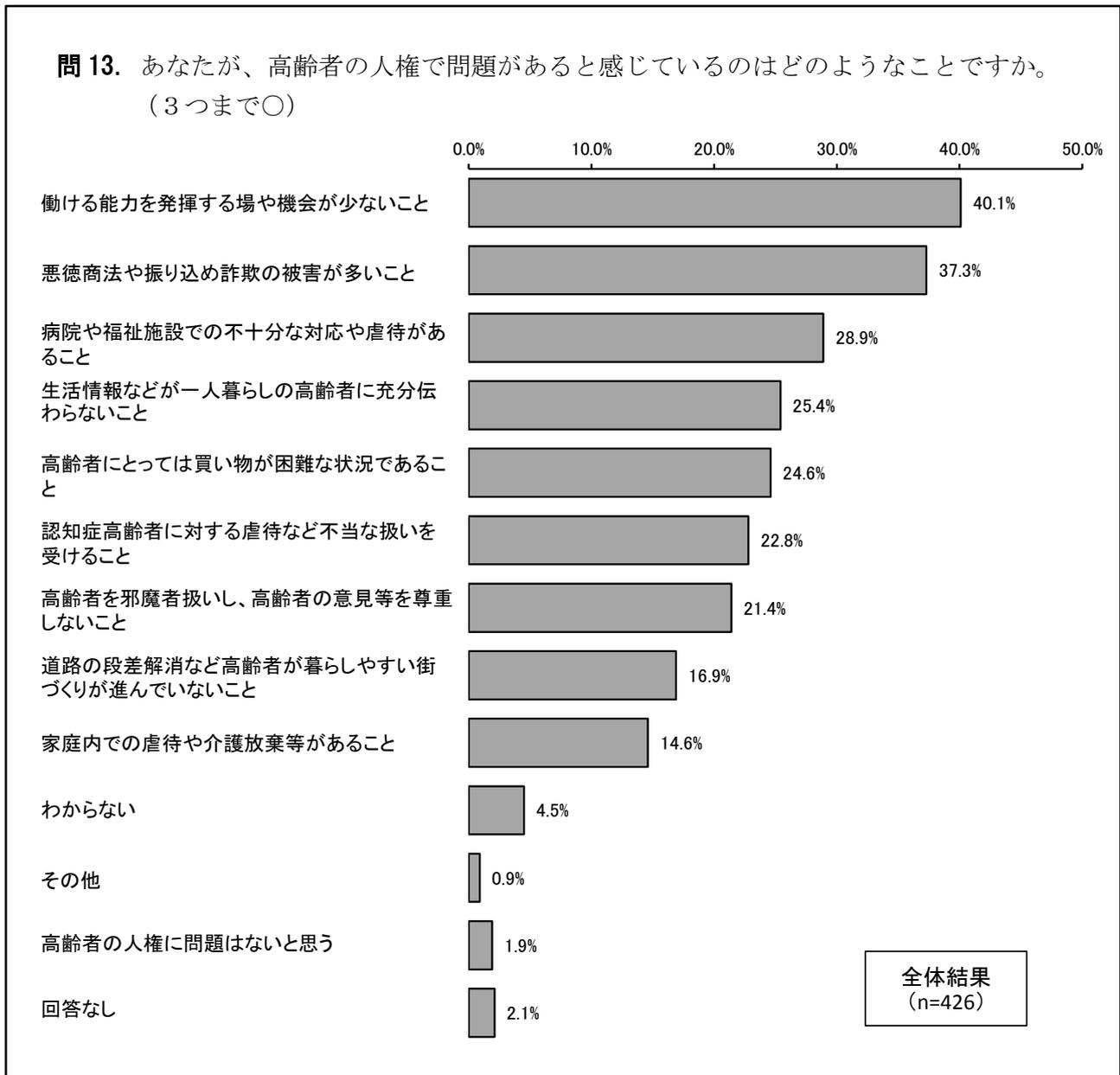


【結果】

「家庭や学校教育などで他人を思いやる心を育む」(53.8%)が最も高く、「子どもの個性や多様性を尊重する」(41.3%)、「家庭内の人間関係を安定させる」(38.0%)が続いている。

4. 高齢者の人権について

(1) 高齢者の人権に対する問題意識について

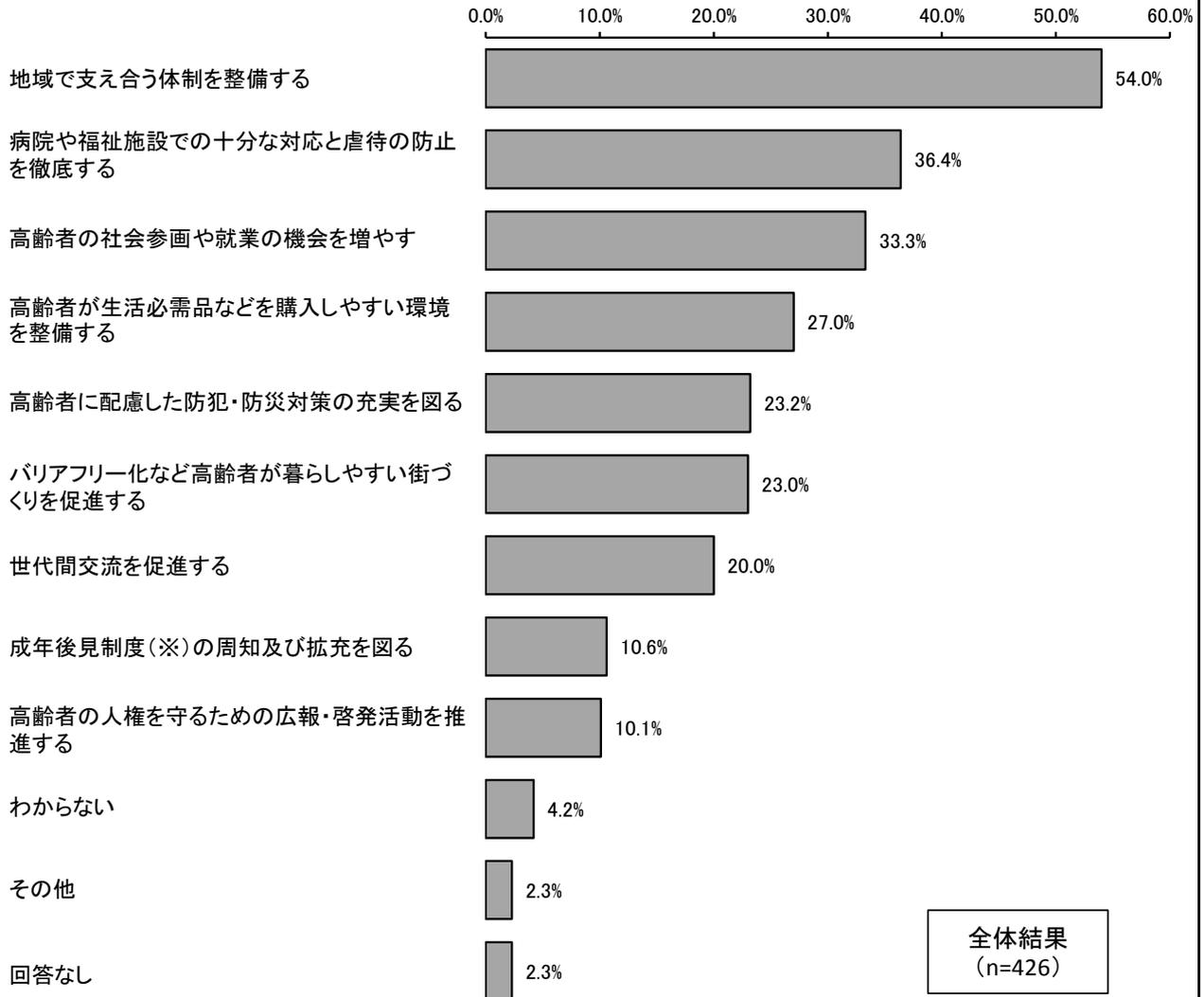


【結果】

「働ける能力を発揮する場や機会が少ないこと」(40.1%)が最も高く、「悪徳商法や振り込め詐欺の被害が多いこと」(37.3%)、「病院や福祉施設での不十分な対応や虐待があること」(28.9%)が続いている。

(2) 高齢者の人権を守るために必要なこと

問 14. 高齢者の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)



※成年後見制度：認知症や知的障がい、精神障がいなどにより物事を判断する能力が十分でない人の権利を守るため、援助者（「成年後見人」等）を選んで法律的に支援する制度のこと。

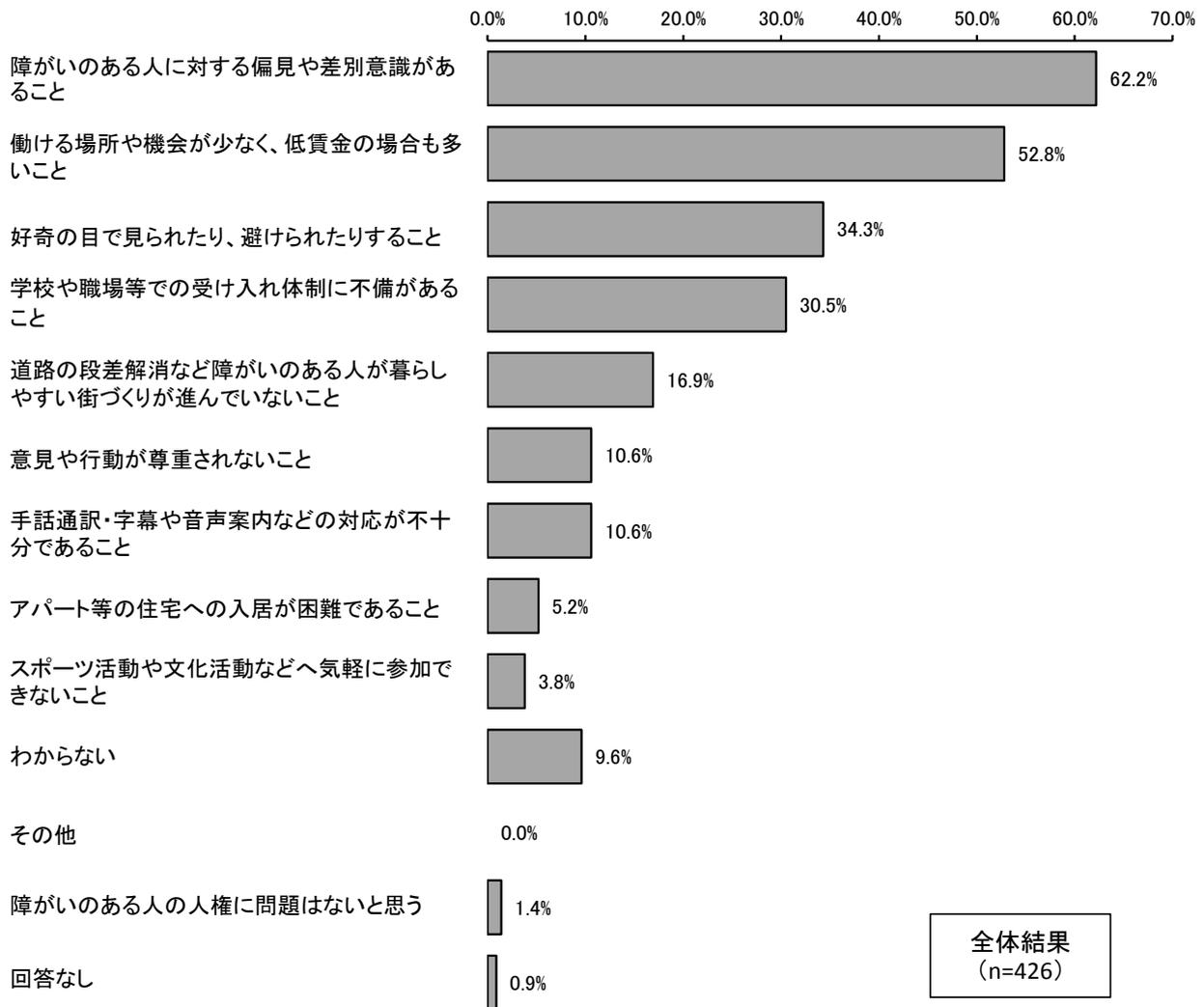
【全体結果】

「地域で支え合う体制を整備する」（54.0%）が最も高く、「病院や福祉施設での十分な対応と虐待の防止を徹底する」（36.4%）、「高齢者の社会参画や就業の機会を増やす」（33.3%）が続いている。

5. 障がいのある人の人権について

(1) 障がいのある人の人権に対する問題意識について

問 15. あなたが、障がいのある人の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。(3つまで○)

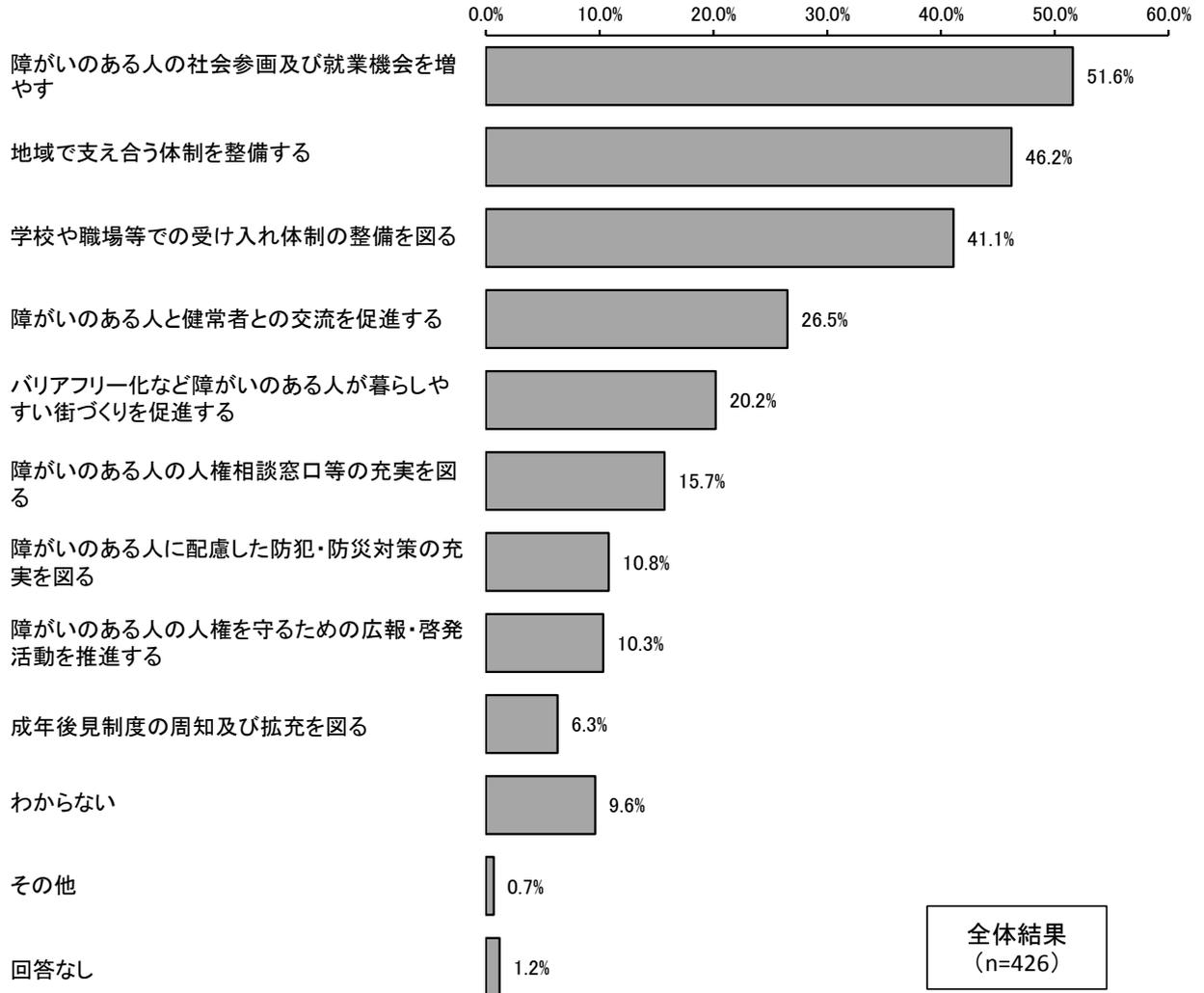


【結果】

「障がいのある人に対する偏見や差別意識があること」(62.2%)が最も高く、「働ける場所や機会が少なく、低賃金の場合も多いこと」(52.8%)、「好奇の目で見られたり、避けられたりすること」(34.3%)が続いている。

(2) 障がいのある人の人権を守るために必要なこと

問 16. 障がいのある人の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)



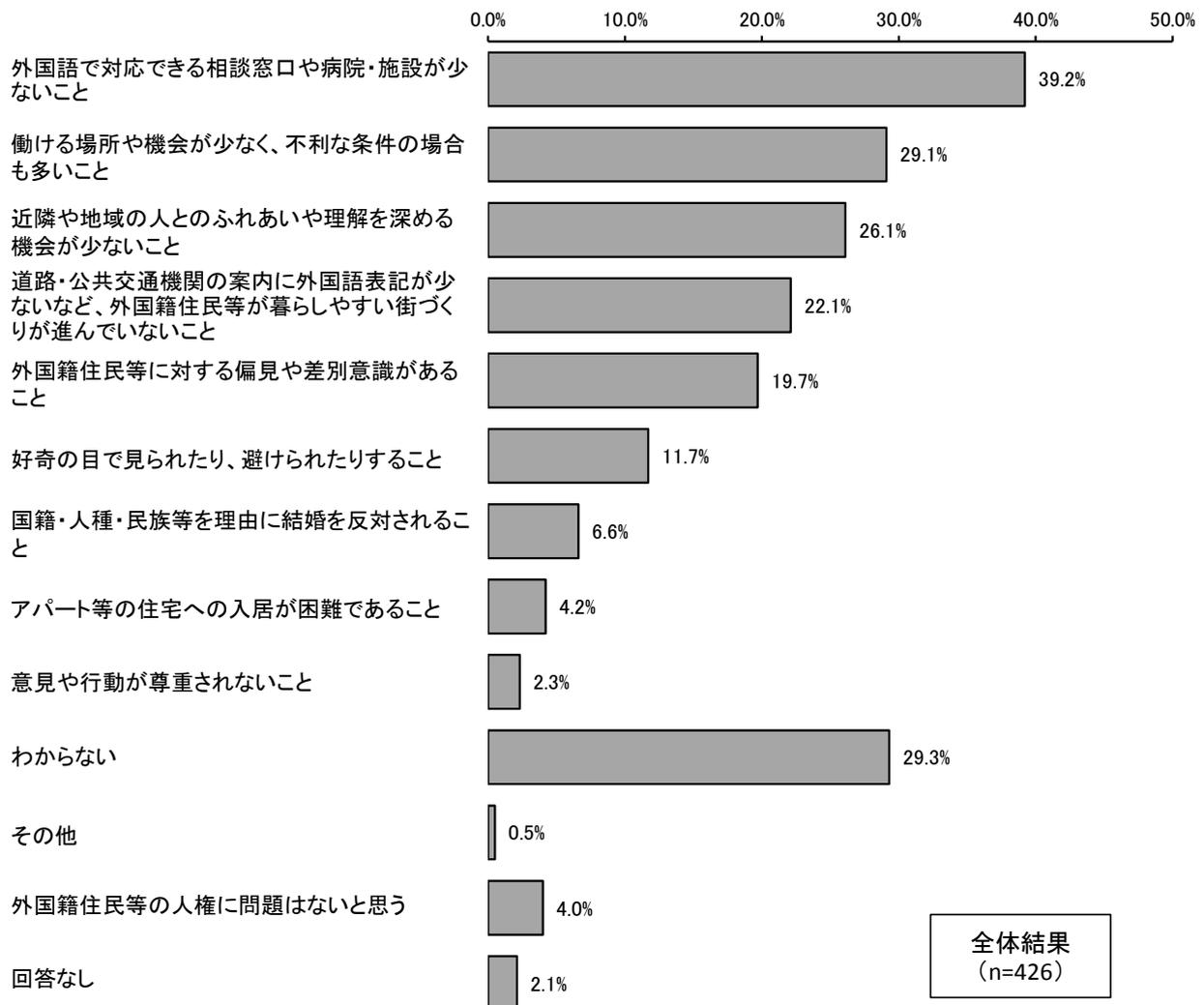
【結果】

「障がいのある人の社会参画及び就業機会を増やす」(51.6%)が最も高く、「地域で支え合う体制を整備する」(46.2%)、「学校や職場等での受け入れ体制の整備を図る」(41.1%)と続いている。

6. 外国籍住民等の人権について

(1) 外国籍住民等の人権に対する問題意識について

問 17. あなたが、外国籍住民等の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。(3つまで○)



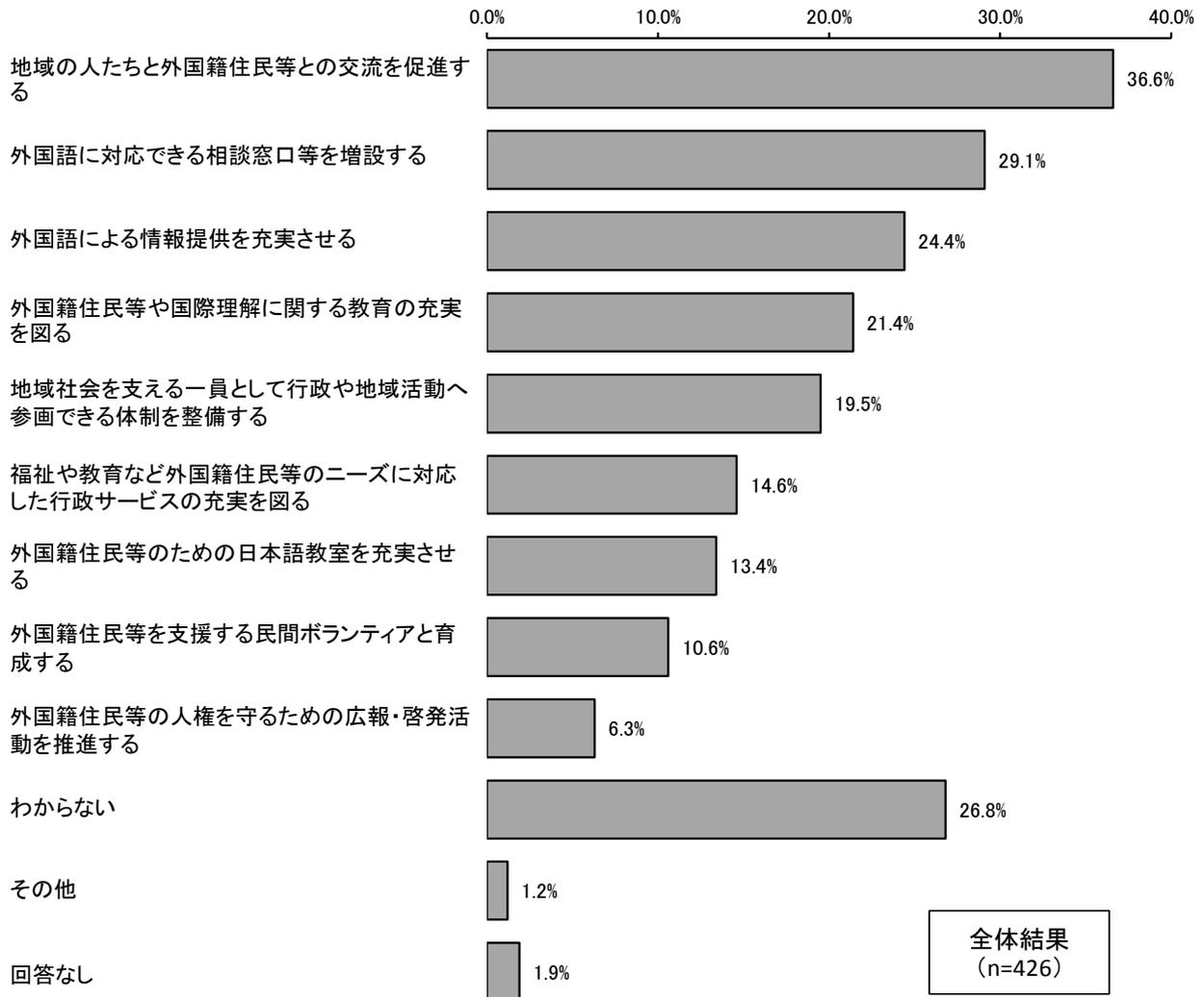
【結果】

「外国語で対応できる相談窓口や病院・施設が少ないこと」(39.2%)が最も高く、「働ける場所や機会が少なく、不利な条件の場合も多いこと」(29.1%)、「近隣や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少ないこと」(26.1%)が続いている。

なお、「わからない」(29.3%)との回答が、3割近くとなっている。

(2) 外国籍住民の人権を守るために必要なこと

問 18. 外国籍住民等の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)



【結果】

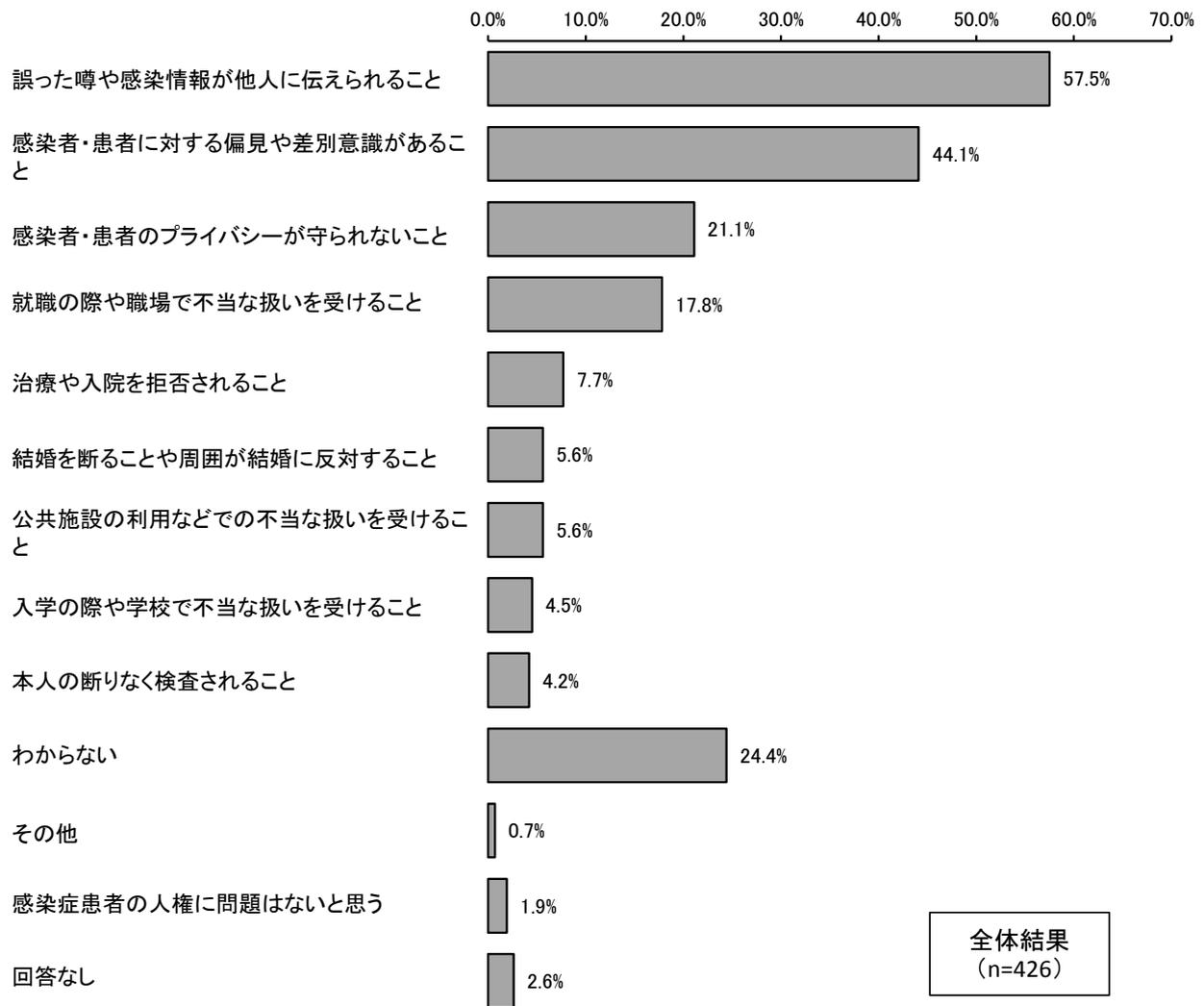
「地域の人たちと外国籍住民等との交流を促進する」(36.6%)が最も高く、「外国語に対応できる相談窓口等を増設する」(29.1%)、「外国語による情報提供を充実させる」(24.4%)と続いている。

なお、「わからない」との回答は26.8%となり、2割を超えている。

7. 感染症患者の人権について

(1) 感染症患者の人権に対する問題意識について

問 19. あなたが、感染症患者（H I V感染者、ハンセン病患者・元患者等）の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。（3つまで○）



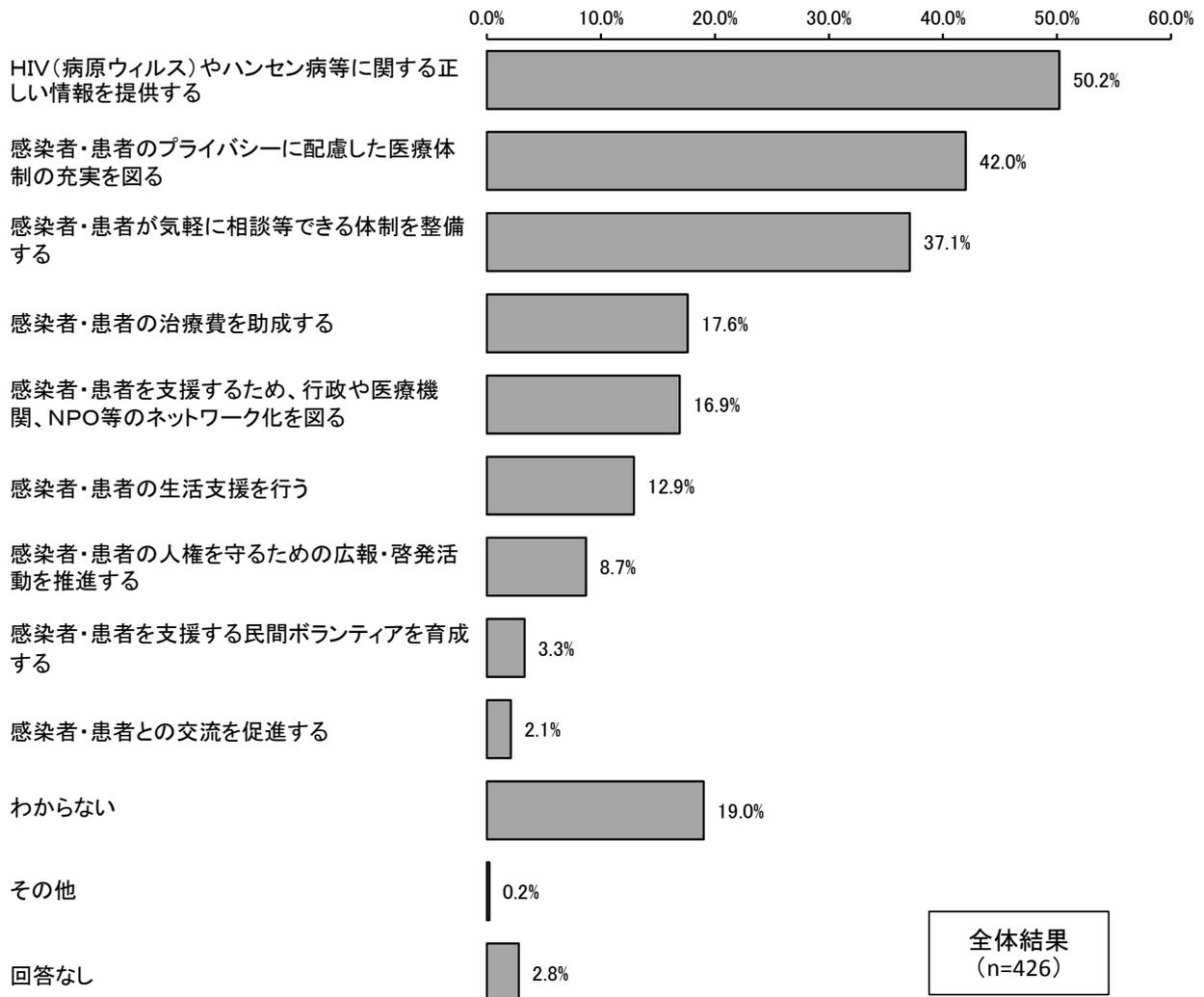
【結果】

問題意識については、「誤った噂や感染情報が他人に伝えられること」(57.5%)が最も高く、「感染者・患者に対する偏見や差別意識があること」(44.1%)、「感染者・患者のプライバシーが守られないこと」(21.1%)が続いている。

なお、「わからない」との回答が24.4%と2割を超えている。

(2) 感染症患者の人権を守るために必要なこと

問 20. 感染症患者の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)



【結果】

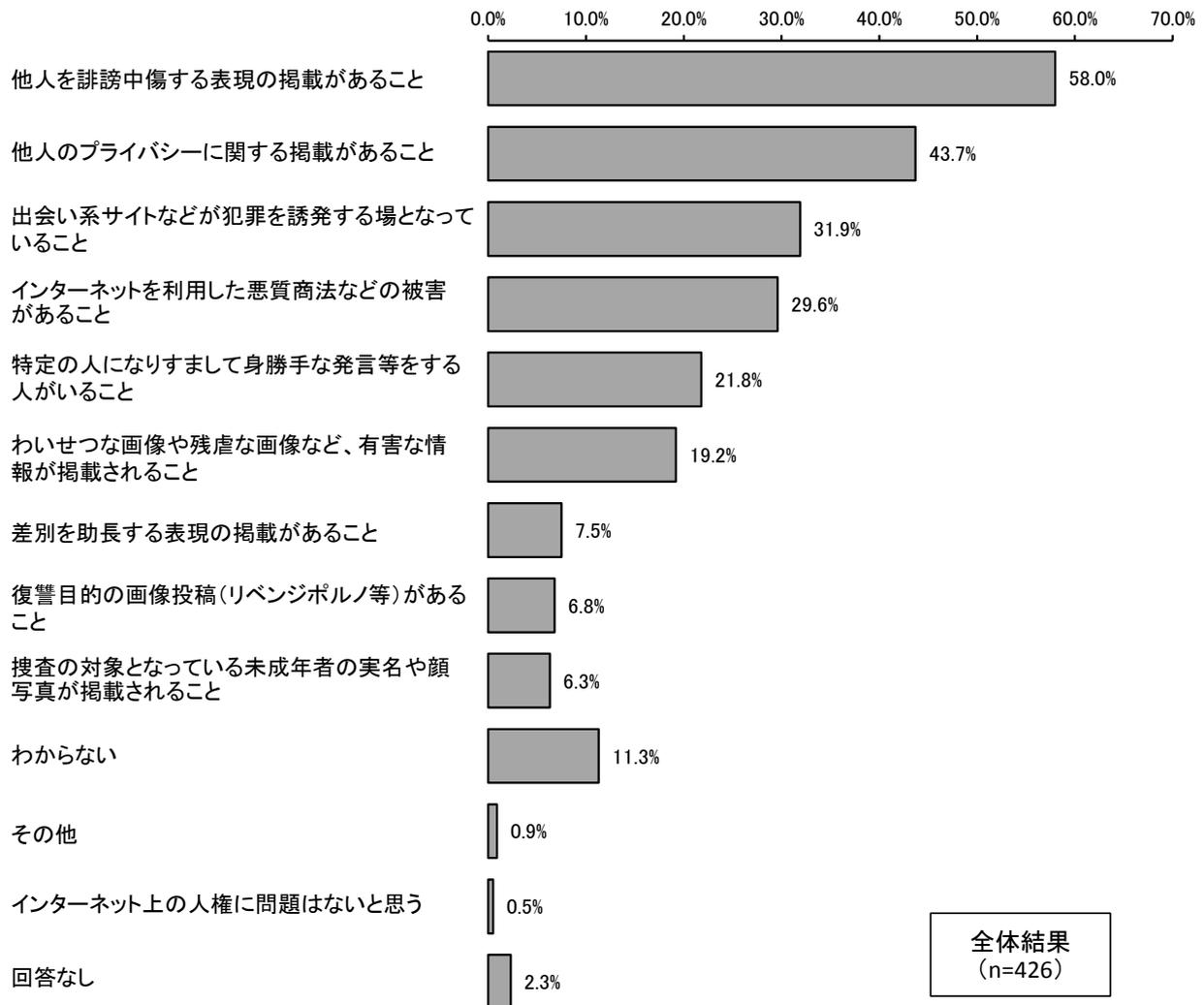
「H I V (病原ウィルス) やハンセン病等に関する正しい情報を提供する」(50.2%) が最も高く、「感染者・患者のプライバシーに配慮した医療体制等の充実を図る」(42.0%)、「感染者・患者が気軽に相談等ができる体制を整備する」(37.1%) が続いている。

なお、「わからない」(19.0%) が、2割弱となっている。

8. インターネット上の人権について

(1) インターネット上の人権に対する問題意識について

問 21. あなたが、インターネット上の人権で問題があると感じているのはどのようなことですか。(3つまで○)

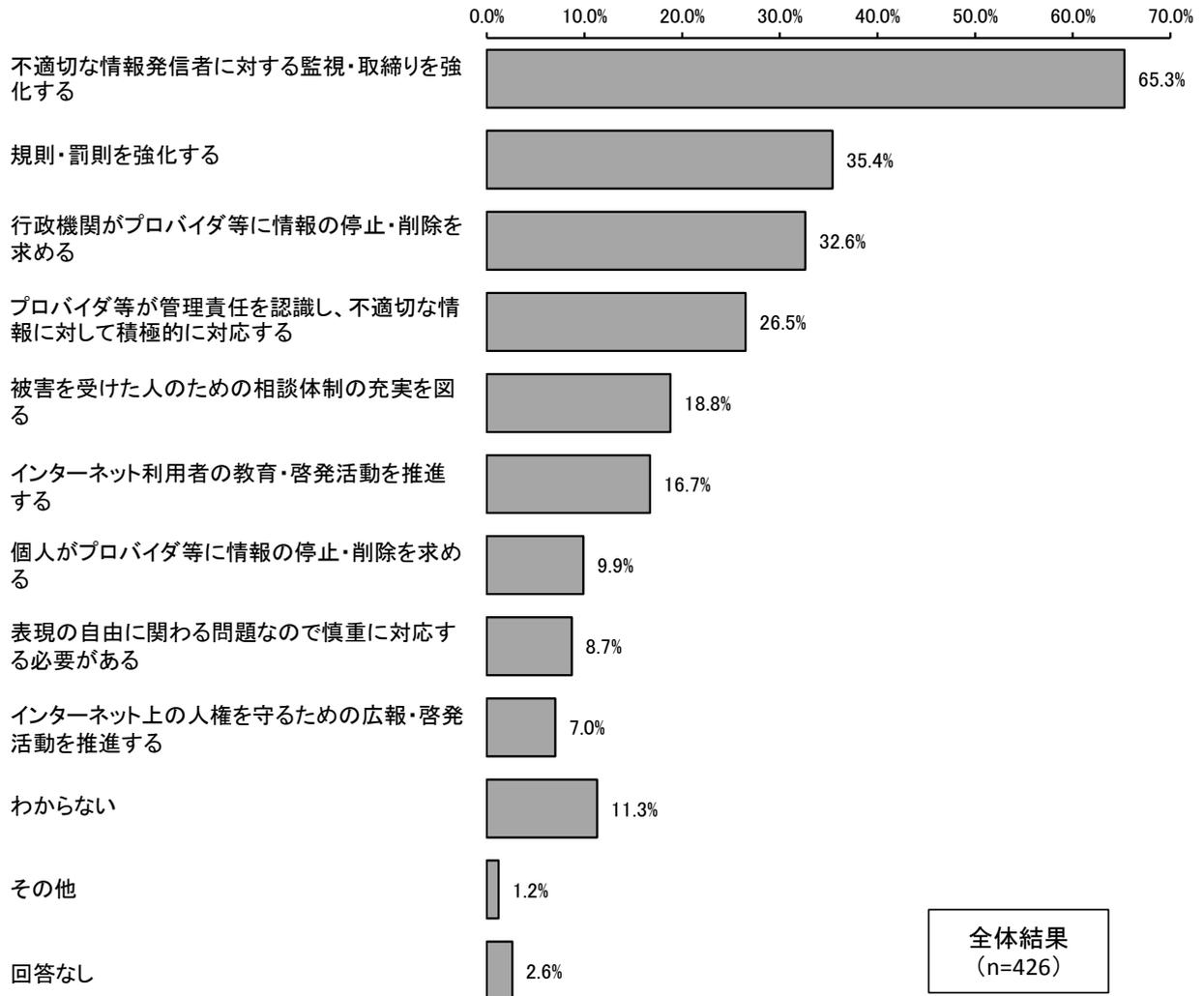


【結果】

「他人を誹謗中傷する表現の掲載があること」(58.0%)が最も高く、「他人のプライバシーに関する掲載があること」(43.7%)、「出会い系サイトなどが犯罪を誘発する場となっていること」(31.9%)と続いている。

(2) インターネット上の人権を守るために必要なこと

問 22. インターネット上の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)

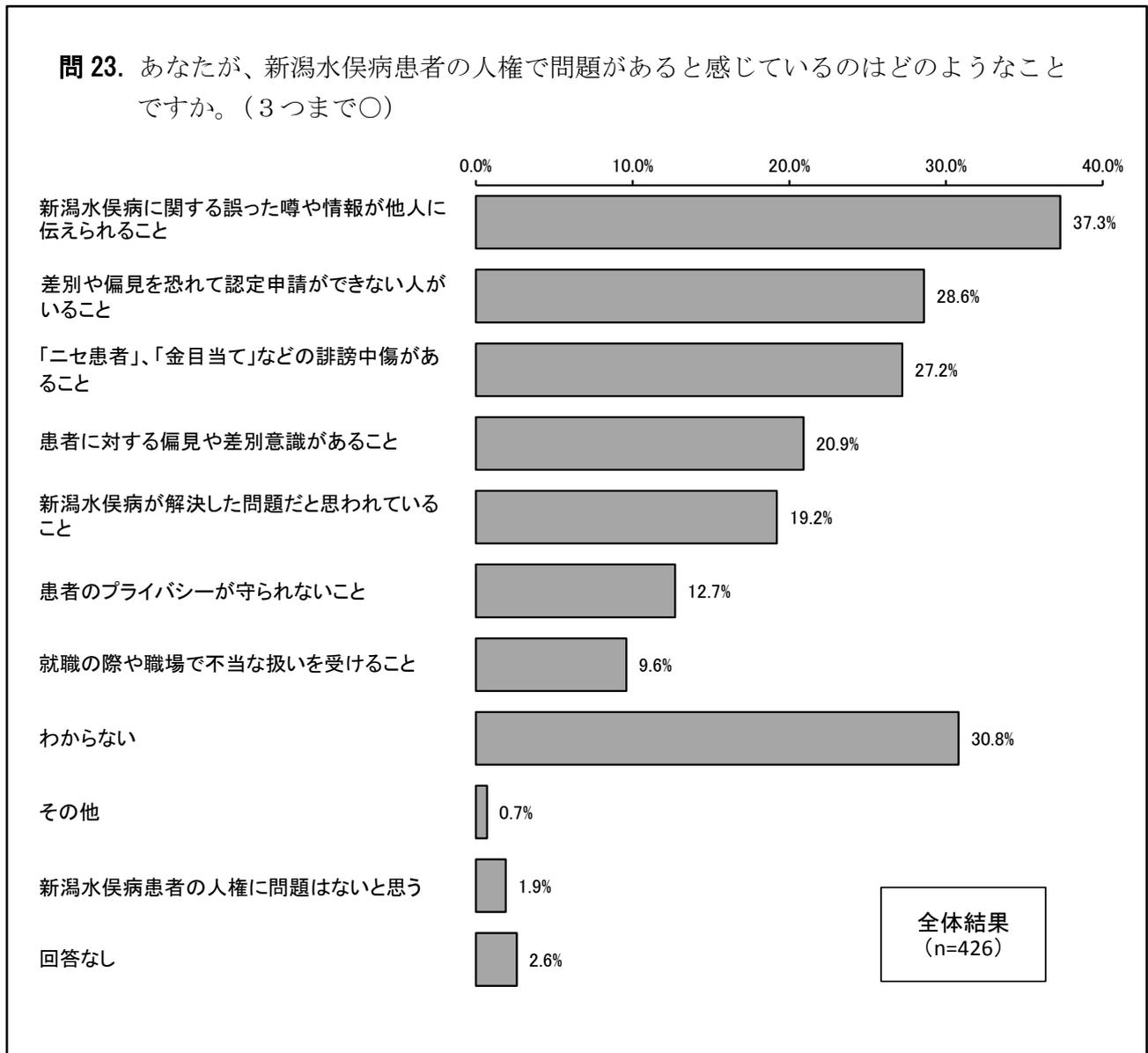


【結果】

「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」(65.3%)が最も高く、「規則・罰則を強化する」(35.4%)、「行政機関がプロバイダ等に情報の停止・削除を求める」(32.6%)と続いている。

9. 新潟水俣病患者の人権について

(1) 新潟水俣病患者の人権に対する問題意識について

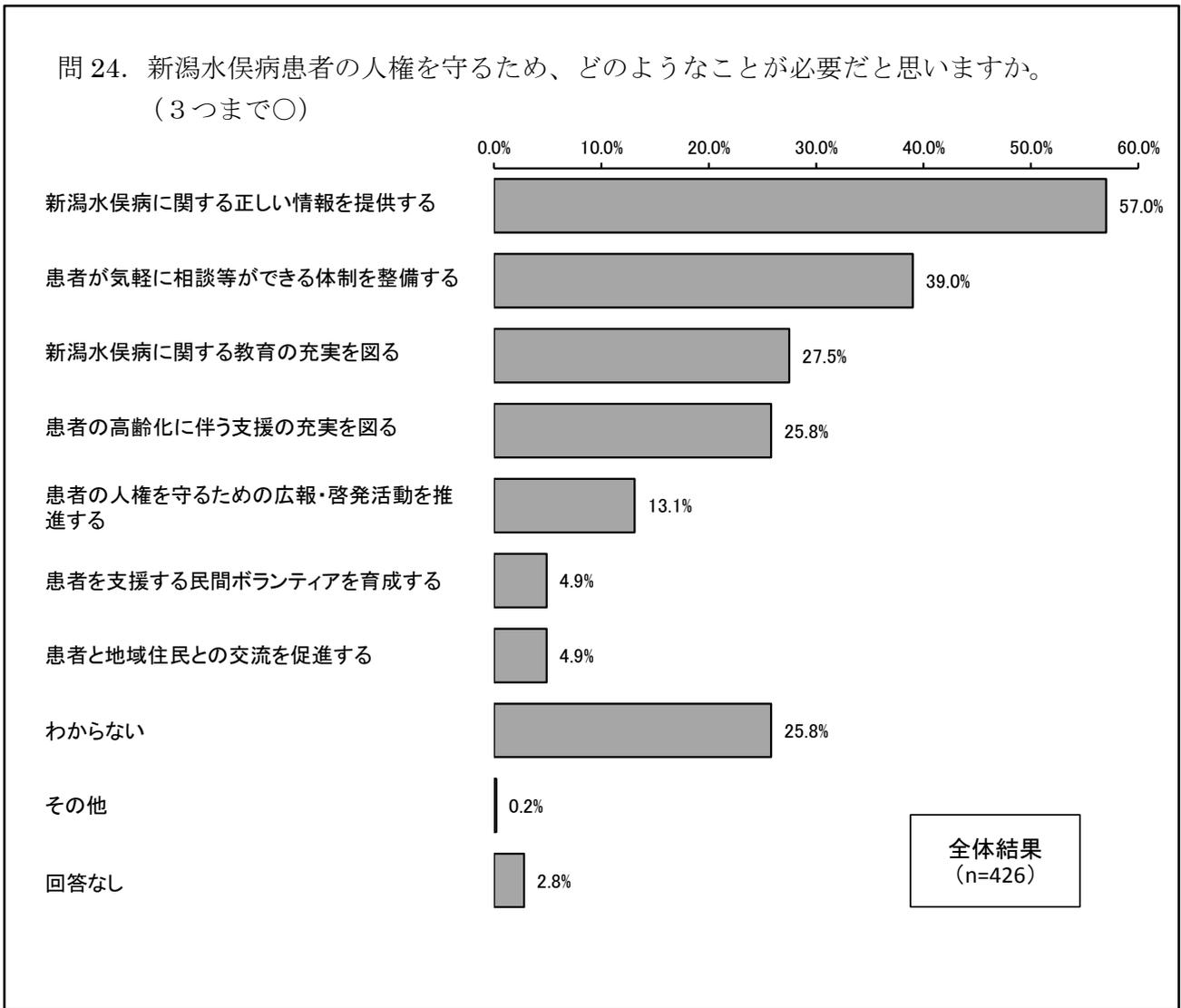


【結果】

「新潟水俣病に関する誤った噂や情報が他人に伝えられること」(37.3%)が最も高く、「差別や偏見を恐れて認定申請ができない人がいること」(28.6%)、「『ニセ患者』、『金目当て』などの誹謗中傷があること」(27.2%)が続いている。

なお、「わからない」が30.8%で、3割を超えている。

(2) 新潟水俣病患者の人権を守るために必要なこと

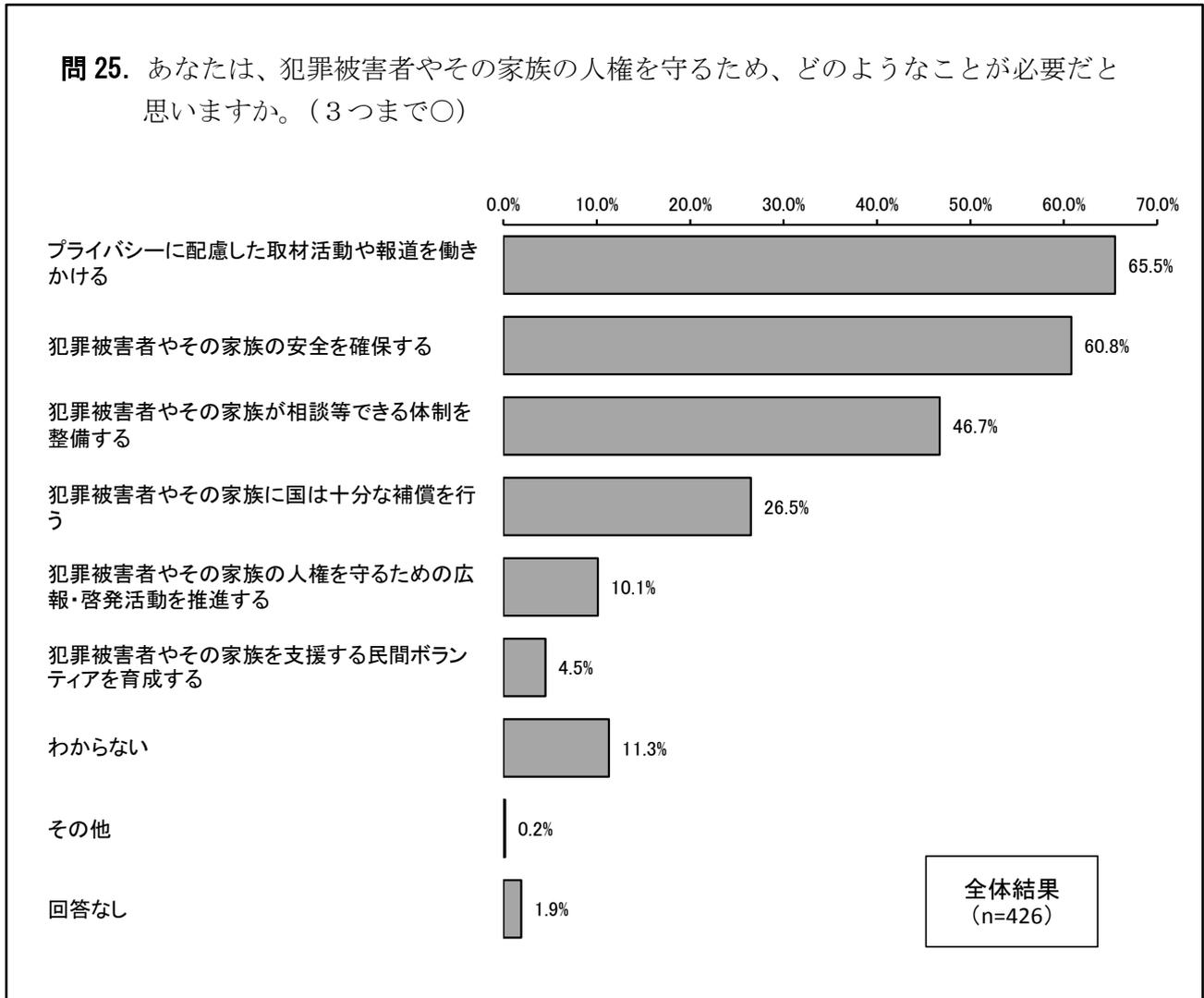


【結果】

「新潟水俣病に関する正しい情報を提供する」(57.0%)が最も高く、「患者が気軽に相談等ができる体制を整備する」(39.0%)、「新潟水俣病に関する教育の充実を図る」(27.5%)が続いている。

10. その他の人権について

(1) 犯罪被害者やその家族を守るために必要なこと

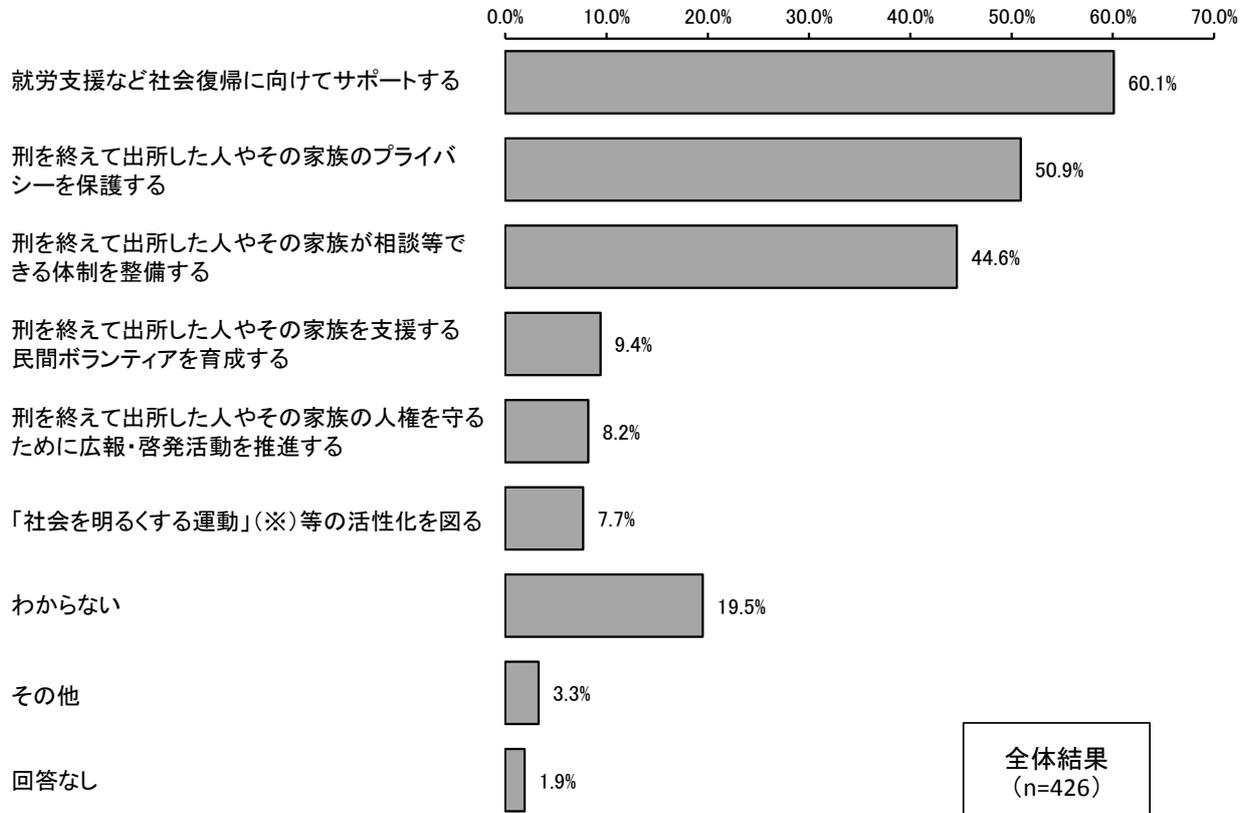


【結果】

「プライバシーに配慮した取材活動や報道を働きかける」(65.5%)が最も高く、「犯罪被害者やその家族の安全を確保する」(60.8%)、「犯罪被害者やその家族が相談等できる体制を整備する」(46.7%)が続いている。

(2) 刑を終えて出所した人やその家族の人権を守るために必要なこと

問 26. あなたは、刑を終えて出所した人やその家族の人権を守るため、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)



※社会を明るくする運動：犯罪の防止と犯罪者の矯正及び更生保護についての正しい理解を深め、進んでこれらの活動に協力するように全国民に呼びかける啓発活動のこと。

【結果】

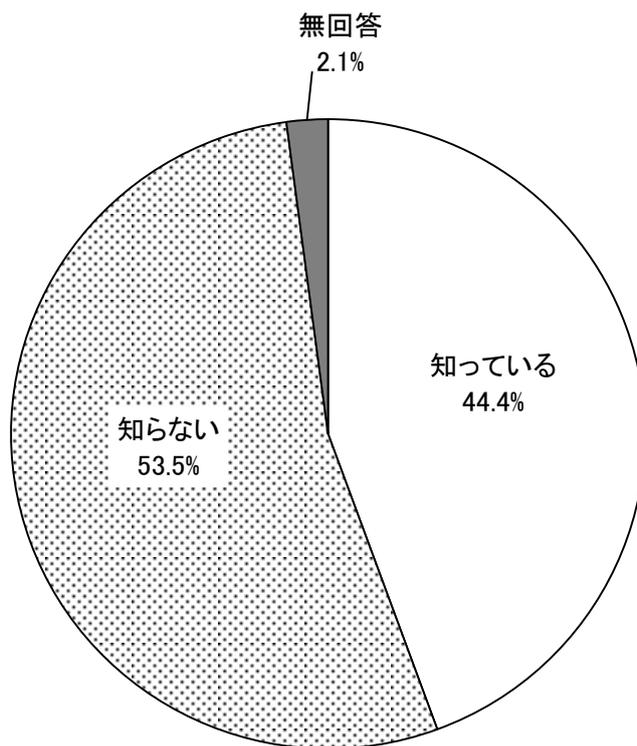
「就労支援など社会復帰にむけてサポートする」(60.1%)が最も高く、「刑を終えて出所した人やその家族のプライバシーを保護する」(50.9%)、「刑を終えて出所した人やその家族が相談等できる体制を整備する」(44.6%)が続いている。

11. 同和問題について

(1) 同和地区（被差別部落）についての認知度

問 27. あなたは、同和地区（被差別部落）の存在や同和問題を知っていますか。
(1つだけに○)

全体結果
(n=426)

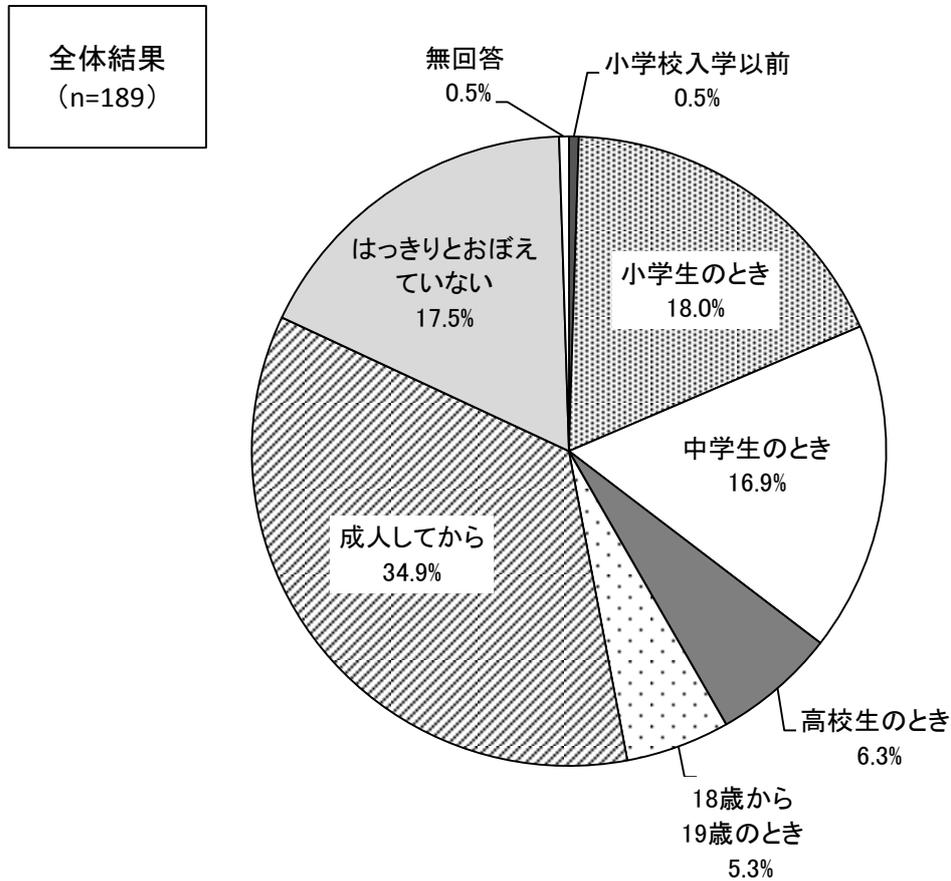


【結果】

「知っている」が44.4%、「知らない」が53.5%となり、半数以上が「知らない」であった。

(2) 被差別部落や同和問題を知った時期について

問 28. あなたが被差別部落や同和問題についてはじめて知ったのはいつ頃ですか。
(1つだけに○)

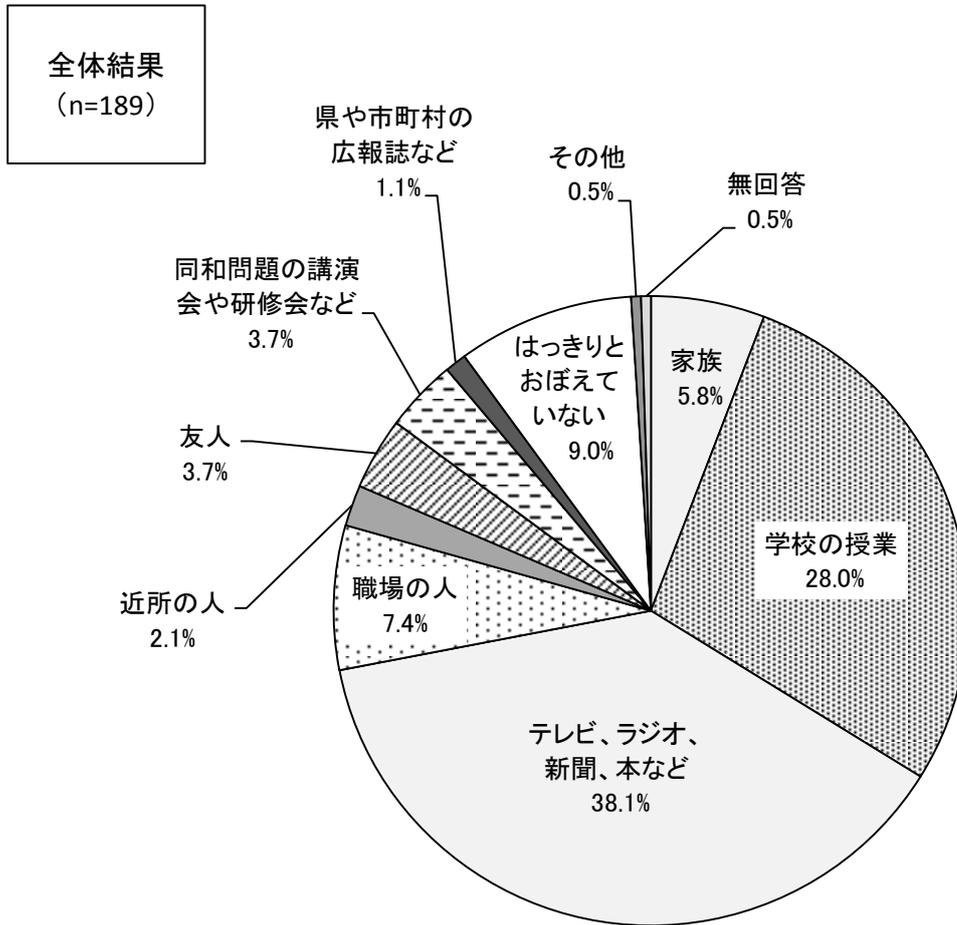


【結果】

「成人してから」が 34.9%で最も多く、「小学生のとき」(18.0%)、「中学生のとき」(16.9%)と続いている。

(3) 被差別部落や同和問題を知ったきっかけ

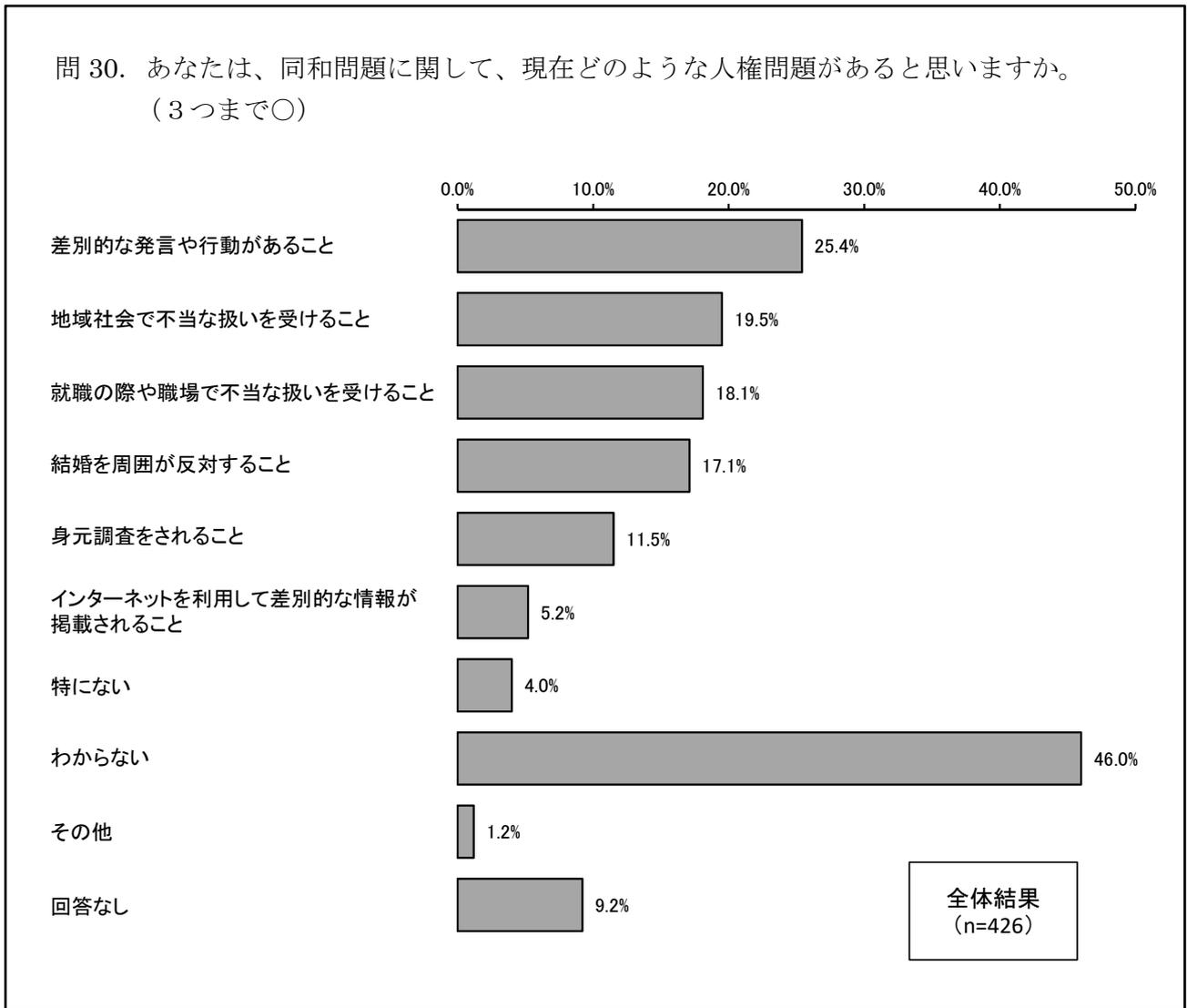
問 29. あなたは、被差別部落の存在や同和問題を何（誰）から知りましたか。
(1つだけに○)



【結果】

「テレビ、ラジオ、新聞、本など」が 38.1%と最も高く、「学校の授業」が 28.0%と続いている。

(4) 同和問題に関する問題意識について



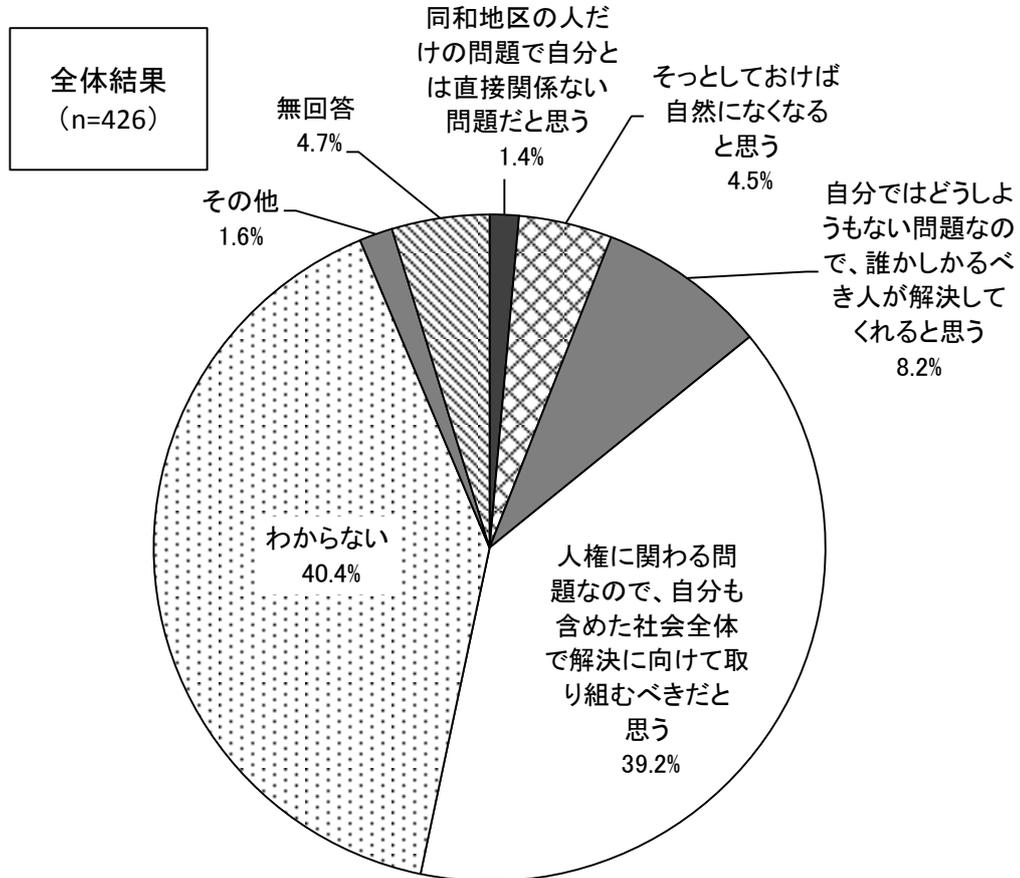
【結果】

問題意識については、「差別的な発言や行動があること」(25.4%)が最も高く、「地域社会で不当な扱いを受けること」(19.5%)、「就職の際や職場で不当な扱いを受けること」(18.1%)が続いている。

なお、「わからない」が46.0%と項目の中では最も高く、4割を超えている。

(5) 被差別部落や同和問題に対する考え方

問 31. あなたは、被差別部落の存在や同和問題について、どのように考えますか。
(1つだけに○)



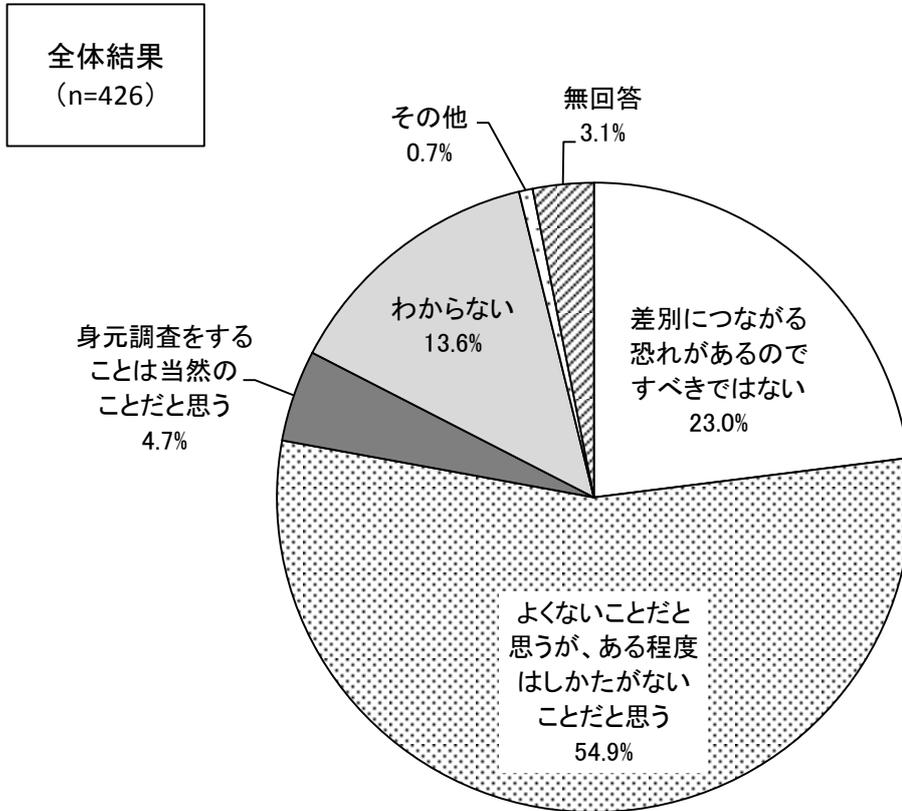
【結果】

「人権に関わる問題なので、自分も含めた社会全体で解決に向けて取り組むべきだと思う」が39.2%と4割弱となっており、「同和地区の人だけの問題で自分とは直接関係がない問題だと思う」(1.4%)、「それとっておけば自然になくなる」(4.5%)、「自分ではどうしようもない問題なので、誰かしかるべき人が解決してくれると思う」(8.2%)は1割に満たない。

一方で、「わからない」との回答が40.4%と4割を超えている。

(6) 身元調査に対する考え方

問 32. あなたは、身元調査（※）についてどのように考えますか。
（1つだけに○）



※身元調査：他人の身元（本籍、経歴、家庭環境、思想、信条、資産など）を調べること。従業員の採用、結婚、金銭消費貸借などの際に行われることが多く、興信所（探偵）など民間の調査機関に調査を依頼して行うこともある。

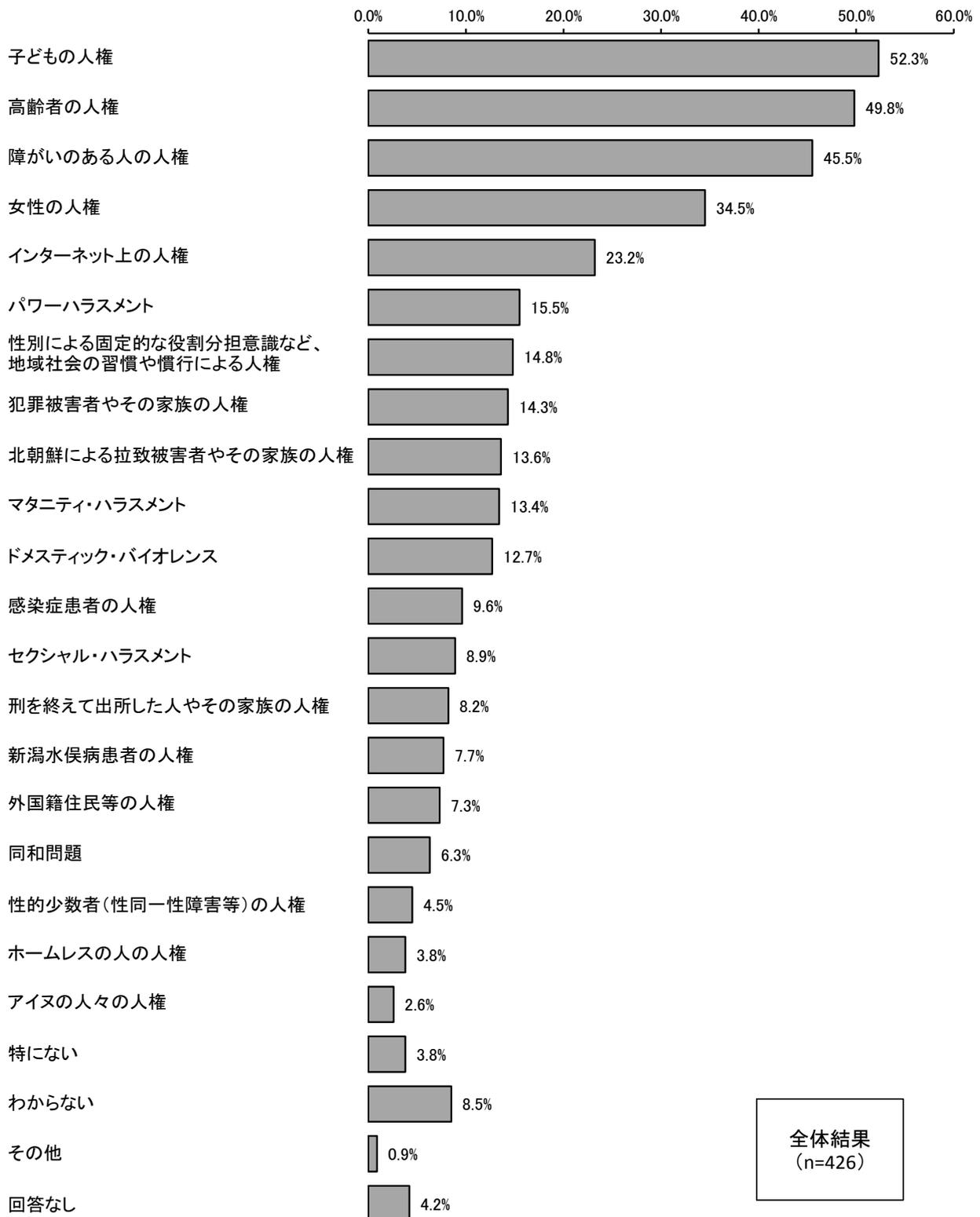
【結果】

「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う」が 54.9%と半数以上となり、「差別につながる恐れがあるのですべきではない」が 23.0%となっている。

12. 人権問題を解決する方策について

(1) 市が積極的に取り組む必要がある人権課題について

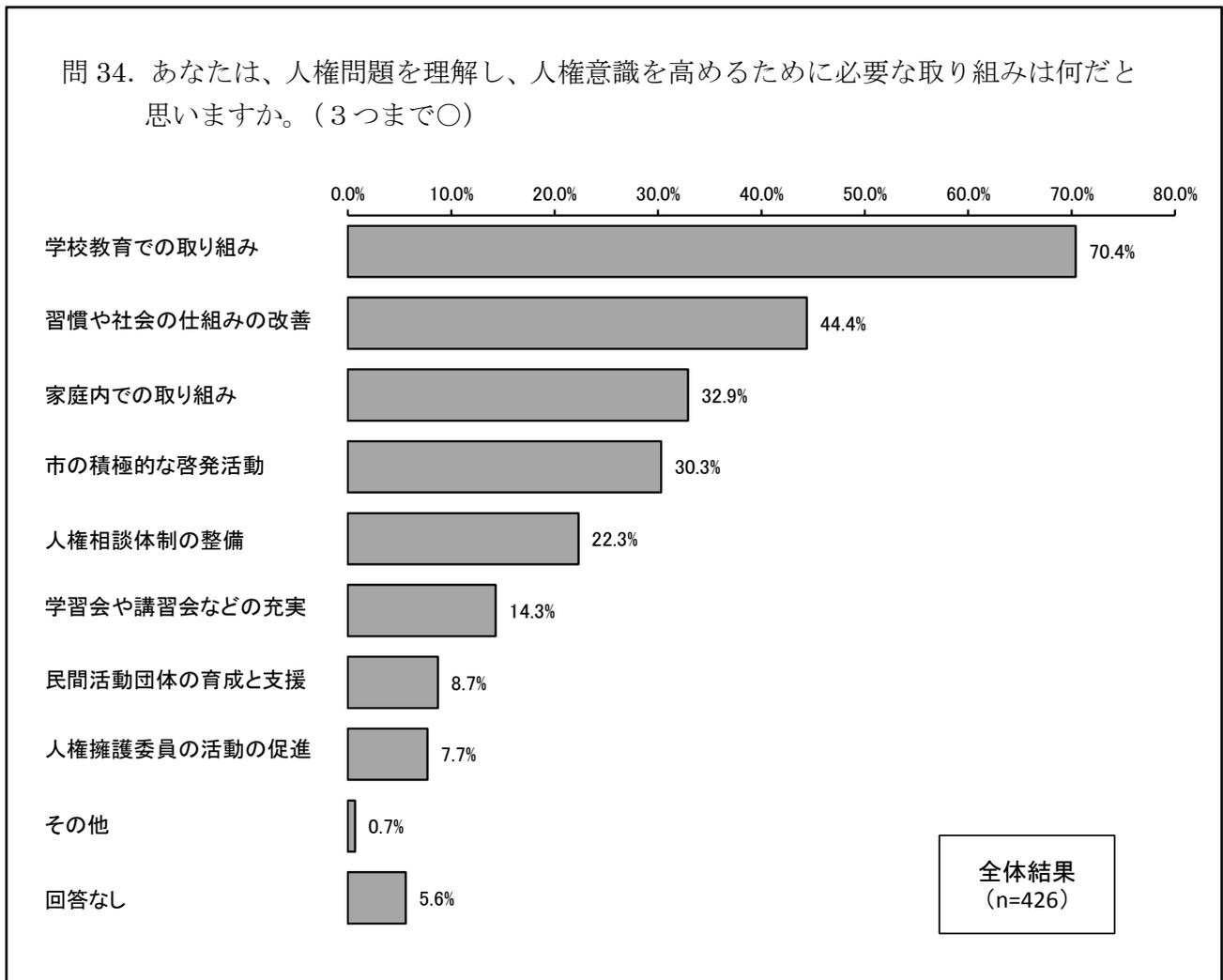
問 33. あなたは、今後、五泉市が積極的に取り組む必要がある人権課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)



【全体結果】

「子どもの人権」(52.3%)が最も多く、「高齢者の人権」(49.8%)、「障がいのある人の人権」(45.5%)、「女性の人権」(34.5%)と続いている。

(2) 人権問題への理解、人権意識を高めるために必要な取り組みについて



【結果】

「学校教育での取り組み」(70.4%)が最も高く、「習慣や社会の仕組みの改善」(44.4%)、「家庭内での取り組み」(32.9%)、「市の積極的な啓発活動」(30.3%)が続いている。

人権に関する市民意識調査 結果報告書
－ 概要版 －

平成 28 年 10 月／五泉市企画政策課
〒959-1692 五泉市太田 1094 番地 1
TEL : 0250-43-3911／FAX : 0250-42-5151